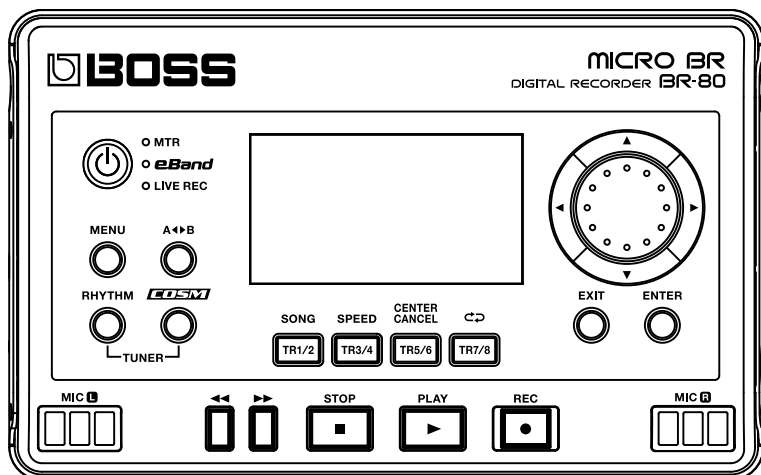




MICRO BR

DIGITAL RECORDER BR-80

取扱説明書



この機器を正しくお使いいただくために、ご使用前に「安全上のご注意」(P.4)と「使用上のご注意」(P.6)をよくお読みください。また、この機器の優れた機能を十分ご理解いただくためにも、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書は必要なときにすぐに見ることができるよう、手元に置いてください。

© 2011 ボス株式会社

本書の一部、もしくは全部を無断で複写・転載することを禁じます。

BOSS、COSM および eBand は、日本国およびその他の国におけるボス株式会社の商標または登録商標です。

MICRO BR

DIGITAL RECORDER **BR-80**

安全上のご注意

火災・感電・傷害を防止するには

⚠ 警告と ⚠ 注意の意味について

 警告	取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表わしています。
 注意	取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を表わしています。 ※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を表わしています。

図記号の例

	△は、注意（危険、警告を含む）を表わしています。 具体的な注意内容は、△の中に描かれています。 左図の場合は、「一般的な注意、警告、危険」を表わしています。
	⊘は、禁止（してはいけないこと）を表わしています。 具体的な禁止内容は、⊘の中に描かれています。 左図の場合は、「分解禁止」を表わしています。
	●は、強制（必ずすること）を表わしています。 具体的な強制内容は、●の中に描かれています。 左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表わしています。

----- 以下の指示を必ず守ってください -----

警告

この機器および AC アダプターを分解したり、改造したりしないでください。



修理／部品の交換などで、取扱説明書に書かれていないことは、絶対にしないでください。必ずお買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



次のような場所に設置しないでください。

- 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）
- 水気の近く（風呂場、洗面台、濡れた床など）や湿度の高い場所
- 湯気や油煙が当たる場所
- 塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ほこりや砂ぼこりの多い場所
- 振動や揺れの多い場所



この機器を、ぐらつく台の上や傾いた場所に設置しないでください。必ず安定した水平な場所に設置してください。



AC アダプターは、必ず指定のもの（PSA-100）を、AC100V の電源で使用してください。



電源コードを無理に曲げたり、電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。電源コードに傷がつき、ショートや断線の結果、火災や感電の恐れがあります。



警告

この機器を単独で、あるいはヘッドホン、アンプ、スピーカーと組み合わせて使用した場合、設定によっては永久的な難聴になる程度の音量になります。大音量で、長時間使用しないでください。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、直ちに使用をやめて専門の医師に相談してください。



この機器に、異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）を絶対に入れないでください。また、この機器の上に液体の入った容器を置かないでください。ショートや誤動作など、故障となることがあります。



次のような場合は、直ちに電源を切って AC アダプターをコンセントから外し、USB ケーブルを本体から外して、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに修理を依頼してください。



- AC アダプター本体や電源コードが破損したとき
- 煙が出たり、異臭がしたとき
- 異物が内部に入ったり、液体がこぼれたりしたとき
- 機器が（雨などで）濡れたとき
- 機器に異常や故障が生じたとき

お客様のいるご家庭で使用する場合、お子様の取り扱いやいたずらに注意してください。必ず大人のかたが、監視／指導してあげてください。



警告

この機器を落としたり、この機器に強い衝撃を与えないでください。



電源は、タコ足配線などの無理な配線をしないでください。特に、電源タップを使用している場合、電源タップの容量（ワット／アンペア）を超えると発熱し、コードの被覆が溶けることがあります。



外国で使用する場合は、お買い上げ店またはローランドお客様相談センターに相談してください。



付属の電池は、充電、加熱、分解したり、または火や水の中に入れたりしないでください



電池を、日光、炎、または同様の過度の熱にさらさないでください。



電池、充電電池、充電器は、間違った使いかたをすると、液漏れ、発熱、発火、破裂などの危険があります。ご使用前に、電池、充電電池、充電器に付属の注意事項を必ず最後まで読み、注意事項を守って正しくお使いください。
充電電池／充電器は、必ず電池メーカーで指定された充電電池と充電器の組み合わせでお使いください。



注意

この機器と AC アダプターは、風通しのよい、正常な通気が保たれている場所に設置して、使用してください。



AC アダプターをコンセントや機器本体に抜き差しするときは、必ず AC アダプターの本体や出力プラグを持ってください。



定期的に AC アダプターを抜き、乾いた布でプラグ部分のゴミやほこりを拭き取ってください。また、長時間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから外してください。AC アダプターとコンセントの間にゴミやほこりがたまると、絶縁不良を起こして火災の原因になります。



注意

接続したコードやケーブル類は、複雑にならないように配慮してください。特に、コードやケーブル類は、お子様の手が届かないように配慮してください。



この機器の上に乗ったり、機器の上に重いものを置かないでください。



濡れた手で AC アダプターの本体や出力プラグを持って、コンセントや機器本体に抜き差ししないでください。



この機器を移動するときは、AC アダプターをコンセントから外し、外部機器との接続を外してください。



お手入れをするときには、電源を切って AC アダプターをコンセントから外してください (P.41)。



落雷の恐れがあるときは、早めに AC アダプターをコンセントから外してください。



電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください (P.38)。



- 電池の＋と－を間違えないように、指示どおり入れてください。
- 新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいってください。
- 液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また眼に入ると危険ですのですぐに水でよく洗い流してください。
- 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。



使用済みの電池は、各地域のゴミ分別収集のしかたに従って、捨ててください。



付属の SD カードは、小さなお子様誤って飲み込んだりすることのないようお子様の手の届かないところへ保管してください。



使用上のご注意

電源について

- ・本機を冷蔵庫、洗濯機、電子レンジ、エアコンなどのインバーター制御の製品やモーターを使った電気製品が接続されているコンセントと同じコンセントに接続しないでください。電気製品の使用状況によっては、電源ノイズにより本機が誤動作したり、雑音が発生する恐れがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。
- ・AC アダプターを長時間使用すると AC アダプター本体が多少発熱しますが、故障ではありません。
- ・接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ずすべての機器の電源を切ってください。

電池について

- ・電池のセットや交換は、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、他の機器と接続する前にこの機器の電源を切った状態で行ってください。
- ・この機器には、電池が付属されています。この電池は、機器の動作確認用のため、寿命が短い場合があります。
- ・電池で使用する場合はアルカリ乾電池、充電式ニッケル水素電池を使用してください。

設置について

- ・この機器の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム（うなり）を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- ・テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色ムラが出たり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用してください。
- ・携帯電話などの無線機器を本機の近くで使用すると、着信時や発信時、通話時に本機から雑音が出ることがあります。この場合は、それらの機器を本機から遠ざけるか、もしくは電源を切ってください。
- ・直射日光の当たる場所や、発熱する機器の近く、閉め切った車内などに放置しないでください。変形、変色することがあります。
- ・極端に温湿度の違う場所に移動すると、内部に水滴がつく（結露）ことがあります。そのまま使用すると故障の原因になりますので、数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。

- ・設置条件（設置面の材質、温度など）によっては本機のゴム足が、設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- ・ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くと、安心してお使いいただけます。この場合、本機が滑って動いたりしないことを確認してからお使いください。
- ・本機の上に水の入った容器、殺虫剤、香水、アルコール類、マニキュア、スプレー缶などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、すみやかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

お手入れについて

- ・通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、固く絞った布で汚れを拭き取ってください。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないでください。

修理について

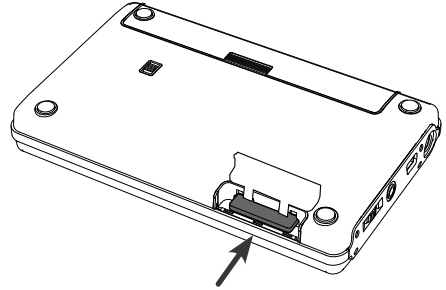
- ・お客様がこの機器や AC アダプターを分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合があります。
- ・修理に出される場合、記憶した内容が失われることがあります。大切な記憶内容は、SD カード、SDHC カード、パソコンに保存するか、記憶内容をメモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー一部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記録内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- ・当社では、この製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などにより、失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップとしてSDカード、SDHCカード、パソコンに保存しておいてください。
- 本体メモリー、SDカード、SDHCカードの失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- 故障の原因になりますので、ボタン、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ディスプレイを強く押ししたり、叩いたりしないでください。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐため、プラグを持ってください。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がからないように、音量に十分注意してください。ヘッドホンを使用すれば、気がねなくお楽しみいただけます。
- 輸送や引っ越しをするときは、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包してください。
- この機器が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄する場合、各地域のゴミの分別基準に従って行ってください。
- 接続ケーブルには抵抗が入ったものがあります。抵抗入りのケーブルを使用すると音が極端に小さくなったり、全く聞こえなくなる場合があります。抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。
他社製の接続ケーブルをご使用になる場合、ケーブルの仕様につきましては、ケーブルのメーカーにお問い合わせください。

SD カードの取り扱い

- SDカード、SDHCカードは、確実に奥まで差し込んでください。



- SDカード、SDHCカードの端子の部分に触れたり、汚したりしないでください。
- SDカード、SDHCカードは精密な電子部品で作られていますので、取り扱いについては次の点に注意してください。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。
 - 端子部に手や金属で触れない。
 - 曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
 - 直射日光の当たる場所や、閉め切った自動車の中などに放置しない。
 - 水に濡らさない。
 - 分解や改造をしない。

CD、DVD の取り扱い

- ディスクの裏面（信号面）に触れたり、傷をつけたりしないでください。データの読み出しがうまくいかないことがあります。ディスクの汚れは、市販の専用クリーナーでクリーニングしてください。

使用上のご注意

著作権について

- 第三者の著作物（音楽作品、映像作品、放送、実演、その他）の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は技術的保護手段による制約の一部または全部を受けずに録音、録画あるいは複製を行うことができます。これは本製品が音楽制作や映像制作を目的としており、他者の著作権を侵害しない作品（自作曲など）の録音、録画あるいは複製まで、制約を受けることがないよう設計されているためです。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイルデータ、伴奏パターン、フレーズデータ、オーディオループ、画像データなど）の著作権は当社および／またはアトリエビジョン株式会社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社および／またはアトリエビジョン株式会社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピュータネットワークを通じて公開したりすることはできません。

- MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサのアーキテクチャーに関する TPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォリオです。当社は、TPL 社よりライセンスを得ています。
- MPEG Layer-3 オーディオ圧縮技術は、Fraunhofer IIS 社と THOMSON multimedia 社よりライセンスを得ています。
- Gracenote からの CD および音楽関連データ：Copyright©2000-2010 Gracenote. Gracenote Software：Copyright 2000-2010 Gracenote. この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の 1 つまたは複数を実践している可能性があります：#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許（#6,304,523）用に Open Globe, Inc. から提供されました。
- Gracenote および CDDDB は Gracenote の登録商標です。Gracenote のロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴは Gracenote の商標です。



- Gracenote サービスの使用については、次の Web ページをご覧ください。
www.gracenote.com/corporate
- SD ロゴ（) および SDHC ロゴ（) は SD-3C, LLC の商標です。
- VST は、Steinberg Media Technologies GmbH. の商標です。
- 本書では Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eCROS™」が搭載されています。
- MP3 codec is Copyright © 1995-2010, SPIRIT.

- 文中記載の会社名及び製品名は、各社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名及び製品名は、各社の登録商標または商標です。本書ではCOSMによってシミュレートされたサウンドを適切に表現するために、これらの名称を使用しています。
- MIDIは社団法人音楽電子事業協会（AMEI）の登録商標です。
- 本書では、画面を使用して機能説明をしています
が、工場出荷時の設定と本文中の画面上の設定は
一致していないことがあります。あらかじめご了承
ください。

目次

安全上のご注意	4
---------------	---

使用上のご注意	6
---------------	---

クイック・スタート 15

BR-80 でできること	16
--------------------	----

01 曲のアイデアを録る (LIVE REC モード)	18
-----------------------------------	----

02 アイデアをふくらませて曲を作る (MTR モード)	22
------------------------------------	----

03 完成した曲をバックに練習する (eBand モード)	28
-------------------------------------	----

04 パソコンとつなぐとできること	32
-------------------------	----

準備編 33

各部の名称とはたらき	34
------------------	----

トップ・パネル	34
---------------	----

サイド・パネル (左)	36
-------------------	----

サイド・パネル (右)	36
-------------------	----

ボトム・パネル	37
---------------	----

使う前の準備をする	38
-----------------	----

電池を入れる	38
--------------	----

SD カードを入れる	39
------------------	----

楽器やスピーカーを接続する	40
---------------------	----

電源を入れる／切る	41
-----------------	----

曲のアイデアを録る (LIVE REC モード) 43

LIVE REC モードでの録音の流れ	44
---------------------------	----

録音する／再生する	45
-----------------	----

LIVE REC モードに切り替える	45
--------------------------	----

録音する	46
------------	----

メトロノームを使って録音する	46
----------------------	----

再生する	47
------------	----

くり返し再生させる (AB リピート)	47
---------------------------	----

再生のしかたを設定する (PLAY MODE)	48
-------------------------------	----

録音やソングの設定をする	49
録音レベルを設定する	49
録音モードを設定する	49
ソングの詳細を見る (SONG INFO)	50
ソングに名前をつける (SONG NAME)	51
ソングを消去する (SONG ERASE)	52

アイデアをふくらませて曲を作る (MTR モード) 53

MTR モードでの曲制作の流れ	54
-----------------	----

録音する／再生する	55
MTR モードに切り替える	55
デモ・ソングを聴く	56
録音する	57
新しいソングを作る (SONG NEW)	57
ソングを選ぶ (SONG SELECT)	57
録音する	58
録音するトラックを選ぶ (REC TRACK)	59
再生する	60
くり返し再生させる (AB リピート)	60
ミスしたところだけ録り直す (AUTO PUNCH IN/OUT)	61
録音する	62

トラックの設定をする (ミキサー画面)	63
トラックのレベルを表示する (レベル・メーター)	63
音量バランスを調節する (TRACK LEVEL)	63
ステレオ・トラックを作る (ステレオ・リンク)	63
音の定位を調節する (TRACK PAN)	64
ミュートやソロを設定する (TRACK MUTE&SOLO)	64
音質を調節する (TRACK EQ)	64
EQ の詳細設定をする	65
リバーブを調節する (REVERB SEND)	65
リバーブの詳細設定をする	65
V トラックを切り替える (V-TRACK)	66

エフェクトを使う (EFFECT)	67
エフェクト・パッチとカテゴリー	67
エフェクトを選ぶ	68

目次

リズムを使う (RHYTHM)	69
リズムの進行を作る (EDIT)	69
パターンを挿入する	70
パターンを削除する	71
リズム進行を初期化する	71
ドラムの音色 (ドラム・キット) を変える (KIT)	72
SMF ミュージック・データからリズムを取り込む (SMF IMPORT)	72

トラックを編集する (TRACK EDIT)	74
録音データをコピーする (TRACK COPY)	74
録音データを移動する (TRACK MOVE)	76
録音データを消去する (TRACK ERASE)	76
録音データを入れ替える (TRACK EXCHANGE)	77
音声データを取り込む (TRACK IMPORT)	78
操作を取り消す (UNDO / REDO)	78
1 つ前の状態に戻す (UNDO)	79
アンドゥを取り消す (REDO)	79

マスタリングする	80
トラックの演奏をまとめる (BOUNCE)	80
マスタリングする (MASTERING)	81
マスタリング・エフェクトの設定を変更する	83
マスタリング・エフェクトの設定を保存する	84

ソングを整理する (SONG)	85
ソングを設定する (SONG INFO)	85
ソングに名前をつける (SONG NAME)	86
ソングの保護をする (SONG PROTECT)	86
ソングを消去する (SONG ERASE)	87
ソングをコピーする (SONG COPY)	87
SD カード容量を節約する (SONG OPTIMIZE)	88

完成した曲をバックに練習する (eBand モード) 89

eBand モードでの操作の流れ	90
------------------------	----

再生する／録音する	91
eBand モードに切り替える	91
再生する	92
くり返し再生させる (AB リピート)	92

録音する	93
GUITAR/MIC IN 端子を使って録音する	93
内蔵マイクを使って録音する	93
演奏する	94
ソングを選ぶ (SONG)	94
ソングの速さやピッチを変える (SPEED)	95
センター・キャンセルする (CENTER CANCEL)	96
再生のしかたを設定する (PLAY MODE)	96
エフェクトを使う (EFFECT)	97
エフェクトを選ぶ	97
リバーブを使う	97
その他の機能	98
ソングを設定する (SONG INFO)	98
ソングに名前をつける (SONG NAME)	98
ソングを消去する (SONG ERASE)	99
お気に入りの 30 曲を登録する (BEST 30 EDIT)	100
くり返し区間を微調整する (AB EDIT)	100
メトロノームを使う	101
ソングとエフェクトを同時に変える (パッチ・シンク)	101
その他の便利な機能	103
パソコンと接続する	104
USB を使う前に	104
USB ドライバーのインストール	104
USB に関する機能を設定する	104
SD カードのデータ構成	105
パソコンと曲のやりとりをする	106
WAV / MP3 ファイルをやりとりする	106
MTR モードの曲をパソコンとやりとりする	107
eBand モードの曲をパソコンとやりとりする	107
データをパソコンに保存する	107
オーディオ・インターフェースとして使う	109
BR-80 からの入力音をパソコンで録音する	109
パソコンで再生した曲を BR-80 で鳴らす	109
パソコンで再生した曲を BR-80 で録音する	109

目次

エフェクトの詳細設定をする.....	110
エフェクトの設定を変更する (EDIT)	110
エフェクトを保存する (WRITE/NAME)	111
アルゴリズム一覧	112
エレキ・ギター／エレキ・ベース用	112
マイク用.....	113
アコースティック・ギター用	113

全体の設定をする.....	114
入力感度を調節する (INPUT SENS).....	114
システム設定をする (SYSTEM)	114
SD カードの使用状況を表示する (SD INFO)	115
SD カードを初期化する (FORMAT)	115
本体を初期化する (FACTORY RESET)	116
オート・パワー・オフ機能を設定する	117

楽器をチューニングする.....	118
------------------	-----

資料編 121

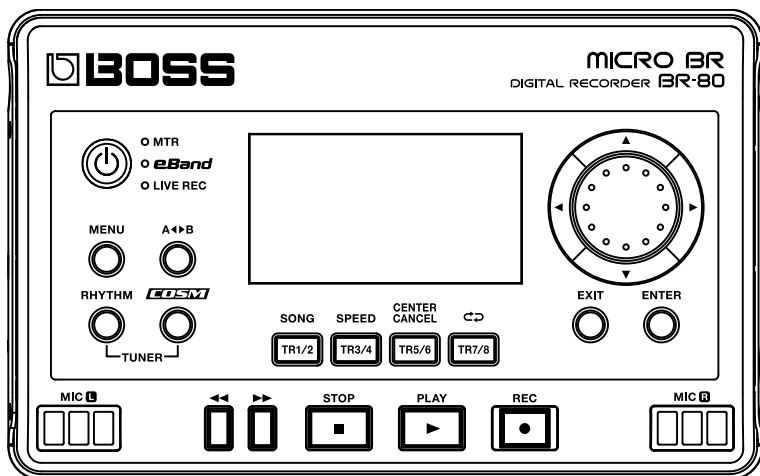
故障かな？と思ったら	122
電源に関するトラブル.....	122
音に関するトラブル	122
SD カードのトラブル	124
USB のトラブル	124

エラー・メッセージ一覧.....	125
------------------	-----

主な仕様	128
------------	-----

索引.....	130
---------	-----

クイック・スタート



録る (LIVE REC モード : P.18、P.43)

思いついたフレーズや曲のアイデアを録音する

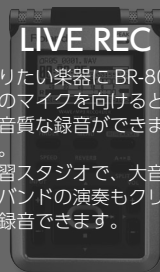
BR-80 に内蔵されたステレオ・マイクを使って、簡単操作ですぐに録音を始められます。

バンドの演奏を録音する

練習スタジオに持ち込んで、バンドの練習を録音できます。

LIVE REC

録りたい楽器に BR-80 本体のマイクを向けると、高音質な録音ができます。
練習スタジオで、大音量のバンドの演奏もクリアに録音できます。



「LIVE REC モード」で録音した曲やアイデアは、「eBand モード」のソングとして再生できます (P.94)。

弾く (eBand モード : P.28、P.89)

お気に入りの曲に合わせて演奏する

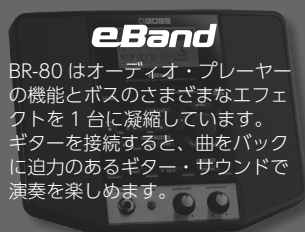
「eBand Song List Editor」で音楽 CD やパソコンから曲をインポートすると、その曲に合わせて演奏できます。

内蔵リズムに合わせて演奏する

リズム・パターンを多数内蔵しているので、多彩なジャンルの音楽が演奏できます。

完成した曲をバックに練習する

ピッチを変えずに再生スピードを変えられるので、自分のテンポで練習できます。



BR-80 はオーディオ・プレーヤーの機能とボスのさまざまなエフェクトを 1 台に凝縮しています。
ギターを接続すると、曲をバックに迫力のあるギター・サウンドで演奏を楽しめます。

「LIVE REC モード」で録音した曲やアイデアは、「MTR モード」のトラックに取り込みます (P.78)。

作る (MTR モード:P.22、P.53)

リズムやエフェクトを使って曲を作る

8つのトラック、リズムトラック、多彩なエフェクトといった曲作りに必要な機能がそろっているため、BR-80 だけで曲を完成できます。

マスタリングして曲を仕上げる

マスタリング・ツール・キットを使って、迫力のある音質に曲を仕上げるすることができます。



MTR
BR-80 は、ポータビリティを重視したモバイル・サイズのマルチトラック・レコーダーです。
演奏の録音からミックス・ダウンまで、お買い上げになったその日から誰でも手軽にデジタル・レコーディングの魅力に触れることができます。

マスタリングした曲は、「eBand モード」ですぐに呼び出して再生できます (P.94)。

「eBand モード」で録音した曲を「MTR モード」のトラックに取り込みます (P.78)。

パソコンにつなぐ (P.32、P.104)

- パソコンのオーディオ・ファイルを取り込んだり、BR-80 で作った曲をパソコンにコピーしたりできます。
- BR-80 の録音データをパソコンにバックアップ／リカバーできます。
- BR-80 の入力音にエフェクトをかけてパソコンで録音したり、パソコンで再生した音を BR-80 に接続したスピーカーから鳴らしたりできます。



01 曲のアイデアを録る (LIVE REC モード)

LIVE REC モードとは

内蔵マイクを使って、いつでも、どこでも、手軽に録音できます。ステレオのコンデンサー・マイクを内蔵しているので、アコースティック・ギターやボーカルの演奏をクリアな音質で録音できます。

乾電池（単3乾電池×2）で長時間使えるので、公園や広場など電源のない場所でも録音できます。自然音や街の雑踏を録音して、曲の素材として使えます。

Step 1 録音の準備をする

1

LIVE REC モードにする

1. [⏻] ボタンを押して、電源を入れます。
2. [⏻] ボタンを何度か押して、「LIVE REC」インジケータを点灯させます。



※LIVE REC モードでは、本体に内蔵されているステレオ・マイクでのみ録音することができます。

※LIVE REC モードでは、エフェクトはかかりません。

ヘッドホンを接続する

BR-80 にはスピーカーがありません。

音を聴くためには、モニター・スピーカーやステレオ・セットなどのオーディオ機器か、ヘッドホンを接続します。

録音するときは、ハウリングを防ぐためにもヘッドホンをお使いください。

1. サイド・パネル（左）の PHONES/LINE OUT 端子に、市販のステレオ・ヘッドホンを接続します。



メトロノームを使って録音する

メトロノームを使うと、安定したテンポで録音できます。

1. [RHYTHM] ボタンを押します。
2. [VOLUME] ダイアルで音量を調節します。
3. カーソル・ボタンで「TEMPO」にカーソルを合わせ、ダイアルでテンポを設定します。

テンポは 25 ～ 250 で設定できます。

4. [EXIT] ボタンを押します。



メトロノームを使って録音する場合、モニター・スピーカーを接続すると演奏にメトロノームの音が混じって録音されてしまいます。メトロノームの音を録音したくないときは、ヘッドホンをお使いください。

ハウリングとは

スピーカーとマイクを近づけると不快な発振音（キーンまたはブーという音）が鳴る現象のことをハウリング（フィードバック）といいます。

これは、スピーカーからの出力信号が再びマイクに入力され、さらに増幅されてスピーカーから出力される音です。

Step 2 録音する

1

録音レベルを調節する

1. [●] (REC) ボタンを押します。

録音待機状態になります。

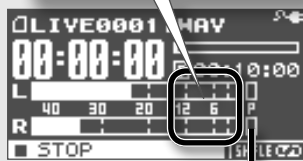
2. 実際に演奏しながら、本体右側面の [REC LEVEL] ダイアルで録音レベルを調節します。

演奏しながら、INPUT レベル・メーターが 12 ~ P (-12 ~ 0dB) の範囲で変化するように調節してください。



[REC LEVEL]
ダイアル

レベル・メーターがこの範囲で変化するように調節する。



P (ピーク・インジケター) が点灯すると音が割れてしまいます。

※ 録音レベル操作時に小さなノイズが聞こえることがありますが、故障ではありません。

3. [VOLUME] ダイアルで音量を調節します。



2

録音する

1. [●] (REC) ボタンを押します。

録音が始まります。

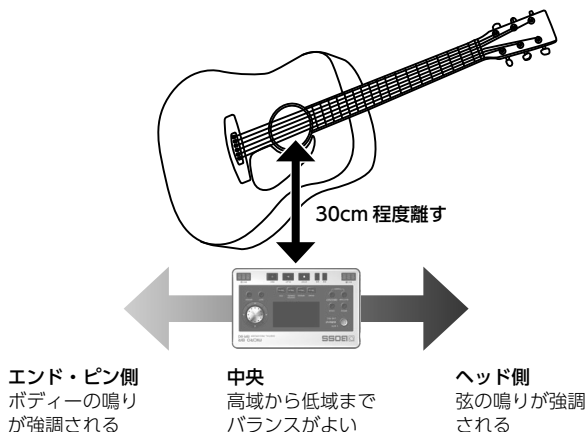
2. [■] (STOP) ボタンを押して、録音を停止します。

録音が停止すると自動でファイル名が付けられ保存されます。

録音のポイント

マイクの位置

アコースティック・ギターの場合、BR-80 とギターのボディを 30cm 程度離して、左右のマイクの中心がギターのサウンド・ホールの正面になるように配置します。低域から高域までバランスよく胴鳴り感のあるサウンドで録音できます。



ブリッジよりエンド・ピン側を狙ってボディの鳴りを強調したり、ヘッド側を狙って弦の鳴りを強調したりできます。

録音レベル

指弾きなど小さな音での演奏を録音する場合は、録音レベルを上げるよりもマイクに近づけたほうがノイズを抑えて録音できます。

録音した音を聴く

1. ダイヤルで再生するファイルを選びます。

2. [▶] (PLAY) ボタンを押します。

再生が始まります。

再生音量はサイド・パネル (左) の [VOLUME] ダイアルで調節します。

3. [■] (STOP) ボタンを押すと停止します。

02 アイデアをふくらませて曲を作る (MTR モード)

MTR モードとは

MTR モードは、曲作りを完結できるマルチ・トラック・レコーダーです。

複数のトラックを同時に鳴らしたり、Vトラックを使って何種類ものギター・ソロを録音して聞き比べたりできます。

Step 1 録音の準備をする

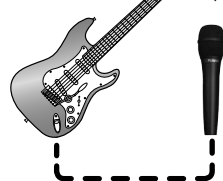
1

接続する

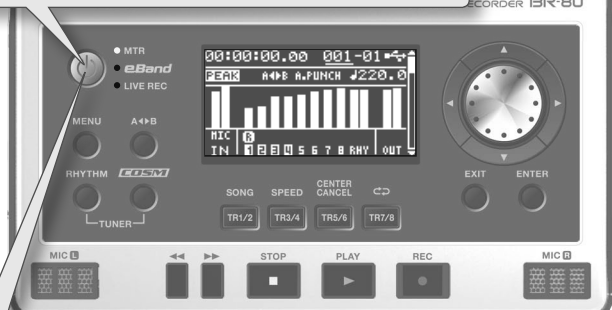
1. [ON] ボタンを数秒間押して、電源を切ります。
2. [REC LEVEL] ダイアルと [VOLUME] ダイアルを最小にします。
3. ギターまたはマイクを GUITAR/MIC IN 端子に接続します。
4. ボトム・パネルの [GUITAR/MIC] スイッチを GUITAR 側、または MIC 側にします。

● GUITAR
● MIC

エレクトリック・ギター マイク



MICRO BR
RECORDER BR-80



2

MTR モードにする

1. [ON] ボタンを押して、電源を入れます。
2. [ON] ボタンを何度か押して、「MTR」インジケーターを点灯させます。
3. 実際に演奏しながら、本体右側面の [REC LEVEL] ダイアルを少しずつ上げて、録音レベルを調節します。
4. [VOLUME] ダイアルを少しずつ上げて出力音量を調節します。

Step 2 新しいソングを作る

1

新しいソングを作る

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「SONG」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンで「NEW」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
4. ダイアルでソング・テンプレートより好みのジャンルを選び [ENTER] ボタンを押します。

ソング・テンプレート

ソング・テンプレートには、ジャンルに合わせたリズムや、エフェクトがあらかじめ設定されています。新しいソングを作るときに、ソング・テンプレートを選ぶだけで簡単に新しいソングが作れます。

2

エフェクトを選ぶ

1. [COSM] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「CATEGORY」を選び、ダイアルでカテゴリーを選びます。
3. カーソル・ボタンで「PATCH」にカーソルを合わせ、ダイアルでパッチを選びます。
[COSM] ボタンを押すたびに、エフェクトのオン／オフが切り替わります。
4. エフェクトを選んだら [EXIT] ボタンを数回押してレベル・メーター画面に戻ります。

エフェクトには以下の7種類があります。

- E. ギター用
- ギター・トゥー・ベース
- アコースティック・シミュレーター
- E. ベース用
- A. ギター・マルチ
- ボーカル用
- 内蔵マイク用

Step 3 録音／多重録音をする

1

録音する

1. 録音したいトラックのトラック・ボタンを押します。

REC TRACK 画面が表示されます。



2. トラック・ボタンを何度か押して録音トラックを選びます。
トラック・ボタンを押すたびに、録音トラックが切り替わります。
3. [●] (REC) ボタンを押します。
録音待機状態になります。
4. [▶] (PLAY) ボタンを押して録音を始めます。
5. [■] (STOP) ボタンを押して録音を停止します。



2

別のトラックに演奏を録音する

1. [■] (STOP) ボタンを押しながら [◀◀] ボタンを押して曲の先頭に戻します。
2. トラック・ボタンを押して、別の録音トラックを選びます。
3. [●] (REC) ボタンを押します。
4. [▶] (PLAY) ボタンを押して録音を始めます。
5. [■] (STOP) ボタンを押して録音を停止します。

録音のポイント

テンポの設定

録音や再生時に鳴るリズムのテンポを変更できます。

1. [RHYTHM] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「TEMPO」にカーソルを合わせ、ダイヤルでテンポを設定します。
テンポは 25.0 ～ 250.0 で設定できます。
3. [EXIT] ボタンを数回押して、ミキサー画面に戻ります。



再生する

1. [■] (STOP) ボタンを押しながら [◀◀] ボタンを押して曲の先頭に戻します。
2. [▶] (PLAY) ボタンを押して、再生します。

カーソル [▲] [▼] ボタンで TRACK SOLO&MUTE 画面 (P.64) を表示させると、トラックごとにソロやミュートの設定ができます。

トラックの音量バランスを整える

1. カーソル [▲] [▼] ボタンを押して、TRACK LEVEL 画面を表示します。
2. [▶] (PLAY) ボタンを押して再生します。
3. カーソル・ボタンで音量を変えるトラックを選び、ダイヤルで音量を調節します。



カーソル [▲] [▼] ボタンで画面を切り替えると、PAN (P.64)、EQ (P.64)、リバーブ・センド (P.65) も調整できます。

Step 4 マスタリングする

マスタリングとは、「マスタリング・ツール・キット」という専用のエフェクトを使って、楽曲全体の音圧を上げて迫力を出すことや、音のバランスを聴きやすく調整するといった「曲の最終的な仕上げ」をすることです。

1 マスタリング・モードにする

1. マスタリングを始める前にトラックの音量バランスを整えておきます (P.63)。
2. [MENU] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンで「MASTERING/BOUNCE」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
4. カーソル・ボタンで「MASTERING」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

MASTERING 画面が表示されます。



2 マスタリングする

1. カーソル・ボタンで EFFECT を選び、ダイヤルでマスタリング・エフェクトを選びます。
2. [●] (REC) ボタンを押してから、[▶] (PLAY) ボタンを押します。

マスタリングが始まります。END の時刻でマスタリングは自動的に止まります。

マスタリングのポイント

マスター・レベルの調節

迫力のある音楽に仕上がるように、音がひずまない範囲で音量を上げます。

1. マスタリング・モードにします。
2. [▶] (PLAY) ボタンを押して、ソングを再生します。
3. MASTERING 画面の「LEVEL」にカーソルを合わせて、ダイヤルでマスター・レベルを調節します。

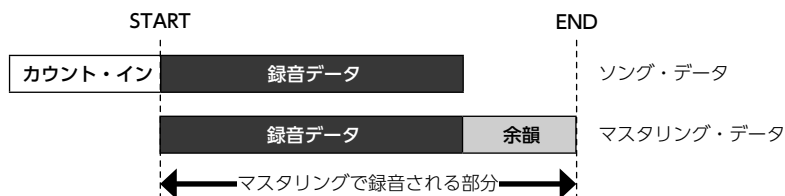
聞こえる音が歪まないようにレベルを調節します。

START 時刻の調節

最初にカウント・インがある曲で、マスタリングの START 時刻を変えると、カウント・インの後からマスタリングを始められます。

END 時刻の調節

マスタリングの END 時刻を曲データの終了時刻より後ろにしておくと、曲が終わった後の余韻が不自然に途切れなくなります。



ソングを WAVE ファイルにする

マスタリングして完成したソングは、SD カード内の MASTERING フォルダに WAVE ファイルとして保存されます。
「eBand モード」で再生したり、パソコンにコピーして CD を作ったりすることができます。

03 完成した曲をバックに練習する (eBand モード)

eBand モードとは

お気に入りの曲をバックにギター演奏が楽しめます。

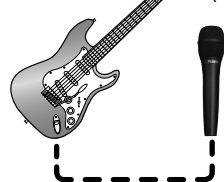
ギター演奏とバックの曲を合わせて録音できます。曲の再生スピードや演奏ピッチを変更したり、センター・キャンセル機能を使ったりして、ギター演奏の練習ができます。

Step 1 演奏の準備をする

1 接続する

1. [ON] ボタンを数秒間押して、電源を切ります。
2. [REC LEVEL] ダイアルと [VOLUME] ダイアルを最小にします。
3. ギターまたはマイクを GUITAR/MIC IN 端子に接続します。
4. ボトム・パネルの [GUITAR/MIC] スイッチを GUITAR側、またはMIC側にします。

エレクトリック・ギター マイク



2 eBand モードにする

1. [ON] ボタンを押して、電源を入れます。
2. [ON] ボタンを何度か押して、「eBand」インジケーターを点灯させます。
3. 実際に演奏しながら、本体右側面の [REC LEVEL] ダイアルを少しずつ上げて、録音レベルを調節します。
4. [VOLUME] ダイアルを少しずつ上げて出力音量を調節します。

Step 2 ソングとエフェクトを選ぶ

1

ソングを選ぶ

1. [TR1/2] (SONG) ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「ALL SONGS」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. ダイアルでソングを選び、[ENTER] ボタンを押します。

BR-80 はソングを絞り込んで表示することができます (P.94)。絞り込んで表示すると、目的の曲を素早く探せます。

2

エフェクトを選ぶ

1. [COSM] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「CATEGORY」を選び、ダイアルでカテゴリーを選びます。
3. カーソル・ボタンで「PATCH」にカーソルを合わせ、ダイアルでパッチを選びます。
4. エフェクトを選んだら [EXIT] ボタンを数回押して基本画面に戻ります。

BR-80 の内蔵曲にはあらかじめギター用のエフェクトが割り当てられているので、曲を選ぶだけですぐに演奏できます。
ギター以外の楽器（ベースやマイクなど）を使って演奏するときはパッチ・シンク (P.101) をオフにしてください。

Step 3 スピードを変えて練習する

フレーズ・トレーナーを使って、ソングの再生スピードを遅くして速弾きの練習をしたり、センター・キャンセルしたソングをバックに演奏したりできます。

1

スピードを変える

1. [TR3/4] (SPEED) ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「SPEED」を選び、ダイヤルで速さを変更します。



100%のとき、オリジナルのスピードで再生されます。
スピードを変えてもピッチは変わりません。



2

練習する

1. [▶] (PLAY) ボタンを押します。
ソングの再生が始まります。
2. ソングに合わせて演奏します。

フレーズ・トレーナーのポイント

SPEED ([TR3/4] ボタン)

※ 再生しているソングだけにかかります。

SPEED

ピッチを変えずにスピードを落とせるので、速いフレーズも聴き取りやすくなります。

PITCH

スピードを変えずにピッチを上げたり下げたりすると、曲のキー（調）を変えられます。



パラメーター	解説
SPEED	ソングの再生速度を変更します。
SHIFT	音程を半音単位で上げ下げします。
FINE	音程を 1 セント単位で微調整します。 100 セント = 半音

CENTER CANCEL ([TR5/6] ボタン)

中央で鳴っているボーカルやギター・ソロなどを目立たなくすることができるので、カラオケなどのマイナス・ワンを簡単に作れます。

※ CENTER CANCEL は、再生しているソング、LINE IN 端子と USB 端子からの入力音に使うことができます。



パラメーター	解説
POSITION	消したい音の位置を設定します。 L50 : 左、C0 : 中央、R50 : 右
FREQ	消したい音の帯域を設定します。
DEPTH	値を大きくするほど、効果が強くなります。

演奏を録音する

eBand モードで演奏した音をそのまま録音します。

1. [●] (REC) ボタンを押します。

録音が始まります。演奏を始めるまでの間も無音で録音されています。

2. [▶] (PLAY) ボタンを押して演奏を始めます。

ソングが再生されます。ソングに合わせて演奏します。

3. [■] (STOP) ボタンを押して録音を止めます。

.....

BOSS BR Series Wave Converter

-

eBand Song List Editor

- [illegible]

「BOSS BR Series Wave Converter」と「eBand Song List Editor」は付属SDカードに収録されています。インストール方法は、付属SDカード内の「ReadmeJP.txt」をご覧ください。使いかたは、ソフトウェアに付属のヘルプをご覧ください。

データをパソコンに保存する（バックアップ／リカバー）

-

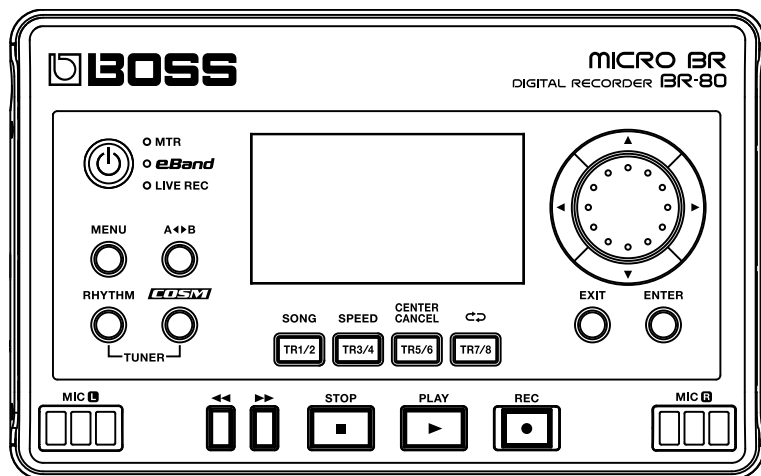
詳しくは『データをパソコンに保存する』(P.107)をご覧ください。

オーディオ・インターフェースとして使う

-

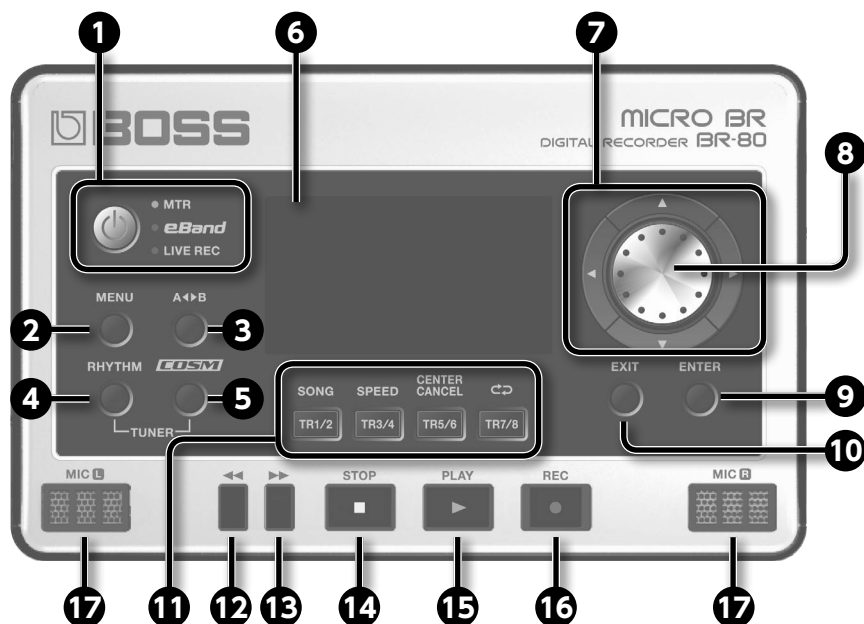
詳しくは『オーディオ・インターフェースとして使う』(P.109)をご覧ください。

準備編



各部の名称とはたらき

トップ・パネル



1 [⏻] (電源) ボタン

電源のオン／オフができます（電源をオフにするときは数秒間押し続けます）。また、[⏻] ボタンを押すたびに、MTR モード→eBand モード→LIVE REC モード→MTR モード... と切り替わります。

2 [MENU] ボタン

BR-80 全体の設定など、さまざまな機能呼び出します。

3 [A ↔ B] ボタン

聞きたい部分を指定して、くり返し再生します。

4 [RHYTHM] ボタン

MTR モードではリズムの設定を変更（エディット）する画面を呼び出します。eBand モードと LIVE REC モードではメトロノームがオンになります。[RHYTHM] ボタンを押しながら [COSM] ボタンを押すと、内蔵チューナーが使えます（P.118）。

5 [COSM] ボタン

インサート・エフェクトのオン／オフや設定を変更（エディット）する画面を呼び出します。[RHYTHM] ボタンを押しながら [COSM] ボタンを押すと、内蔵チューナーが使えます（P.118）。

6 ディスプレイ

ソングの時間や音量レベル、メニュー画面などを表示します。表示画面が見づらくいときは『LCD CONTRAST』(P.114)、『LCD BACKLIGHT』(P.114)を調節してください。

7 カーソル・ボタン

カーソルを移動します。

8 ダイヤル

曲の現在位置の移動（曲の早送りや巻き戻し）に使用します。各機能の設定時には、設定値を変更します。

9 [ENTER] ボタン

値の確定や、操作を実行します。

10 [EXIT] ボタン

前の画面に戻したり、操作を取り消したりします。

11 トラック・ボタン ([TR1/2] [TR3/4] [TR5/6] [TR7/8] ボタン)

録音／再生するトラックを選びます。また、画面下に機能名が表示されているときは、このボタンを押して使う機能を選びます。

たとえば、文中で [TR1/2] (SONG) ボタンとあれば [TR1/2] ボタンを押すことで、ディスプレイに表示されている SONG が選ばれることを意味します。

12 [◀◀] ボタン

ボタンを押している間、曲を巻き戻します。[■] ボタンを押しながら [◀◀] ボタンを押すと、曲の先頭に戻ります。

13 [▶▶] ボタン

ボタンを押している間、曲を早送りします。

14 [■] (STOP) ボタン

曲の録音／再生を停止します。[■] ボタンを押しながら [◀◀] ボタンを押すと、曲の先頭に戻ります。

15 [▶] (PLAY) ボタン

ソングを再生します。

[●] (REC) ボタンが点滅しているときに [▶] (PLAY) ボタンを押すと録音が始まります。再生中は緑色に点灯します。

16 [●] (REC) ボタン

録音ボタンです。

録音待機時にはボタンが赤色で点滅し、録音中は赤色の点灯に変わります。

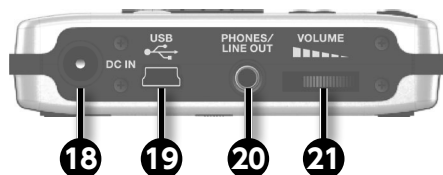
17 MIC L / R (内蔵ステレオ・マイク L / R)

このマイクを使ってステレオ録音できます。BR-80 は、スピーカーを内蔵していません。音を聴きたいときは、ヘッドホンやアンプ内蔵スピーカーを接続してください (P.40)。

トラック・ボタンのはたらき

モード	[TR1/2] ボタン	[TR3/4] ボタン	[TR5/6] ボタン	[TR7/8] ボタン
MTR モード	録音トラックを選択			
eBand モード	SONG	SPEED	CENTER CANCEL	プレイ・モード 切り替え
LIVE REC モード	-	-	-	

サイド・パネル (左)



18 DC IN 端子

別売の AC アダプター (PSA-100) を接続します。

19 USB 端子 (ミニ B タイプ)

USB ケーブルを使ってパソコンと接続する端子です。パソコンと接続すると、以下の操作ができます。

- BR-80 をオーディオ・インターフェースとして使う。
- パソコンとオーディオ・データのやりとりをする。
- パソコンに BR-80 のデータをバックアップする。

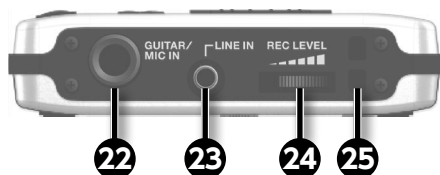
20 PHONES/LINE OUT 端子 (ステレオ・ミニ・タイプ)

ステレオ・ヘッドホン (別売) または外部オーディオ機器を接続します。

21 [VOLUME] ダイアル

PHONES/LINE OUT 端子からの出力音の音量を調節します。

サイド・パネル (右)



22 GUITAR/MIC IN 端子 (標準タイプ)

ギターやベース、またはマイクを接続します。

ボトム・パネルの [GUITAR/MIC] 切り替えスイッチでハイ・インピーダンス (ギター/ベース使用時)、ロー・インピーダンス (マイク使用時) を切り替えて使います。

※ マイクはモノラルのダイナミック・マイクをお使いください。
BR-80 は、コンデンサー・マイクには対応していません。

23 LINE IN 端子 (ステレオ・ミニ・タイプ)

デジタル・オーディオ・プレーヤーなどのオーディオ機器の出力を接続します。

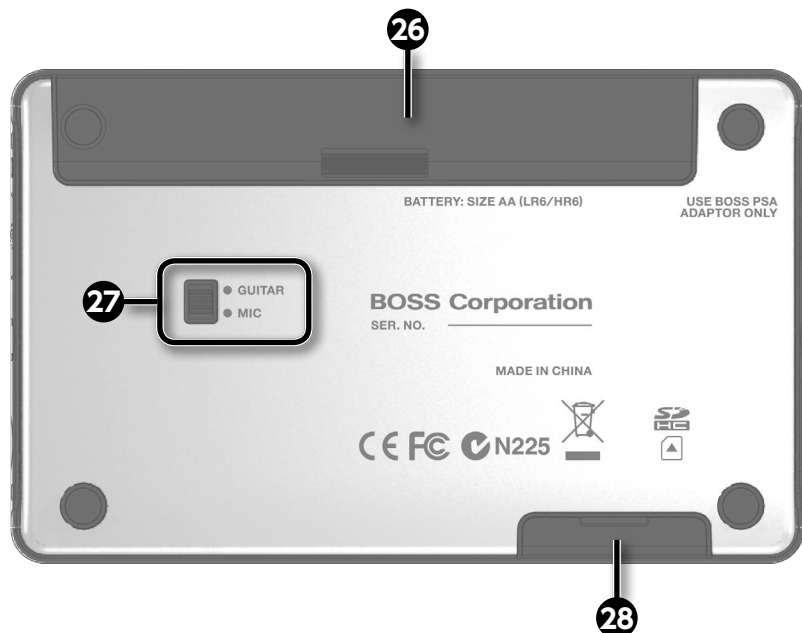
24 [REC LEVEL] ダイアル

ギターやマイクなどの入力ソースの音量を設定します。トラックに録音されるレベルが決まります。

25 ストラップ取り付け穴

市販のストラップを取り付けることができます。

ボトム・パネル

**26** バッテリー・カバー

市販の単 3 形アルカリ乾電池、充電式ニッケル水素電池（2 本）が使用できます。

※ BR-80 で充電式ニッケル水素電池の充電はできません。

27 [GUITAR/MIC] 切り替えスイッチ

GUITAR/MIC IN 端子に接続した機器によって、ギター（ハイ・インピーダンス機器）、マイク（ロー・インピーダンス機器）を切り替えます。

28 メモリー・カード・スロット

カバーを開けて SD カードをセットします。

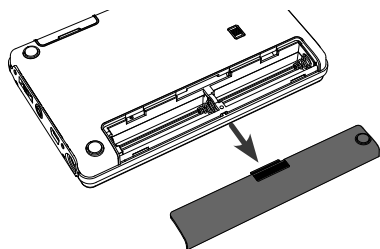
BR-80 は付属の SD カードを挿入した状態で出荷しています。この SD カードにはソング・データ、リズム・データ、USB ドライバー、eBand Song List Editor、BR Series Wave Converter が収録されています。

※ 付属の SD カードは、BR-80 を使う前に一度バックアップを取ってください。バックアップを取る方法は『データをパソコンに保存する』(P.107)をご覧ください。

使う前の準備をする

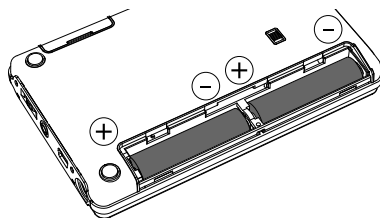
電池を入れる

1. 電源がオフになっていることを確認します。
2. ボトム・パネルのバッテリー・カバーを、矢印の方向にスライドさせて取り外します。



ご注意!

- 電池カバーを外したときに、中に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）や液体（水、ジュースなど）が入らないようご注意ください。
3. +、-の向きに注意して、単 3 乾電池 2 本をバッテリー・ケースに入れます。



4. バッテリー・カバーを取り付けます。

メモ

電池を取り出すときは、本体の電源を切ってから、電池を取り出します。

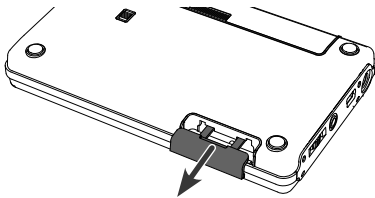
- 電池の使いかたを間違えると、破裂したり、液漏れしたりします。次のことに注意してください。
- 電池の+と-を間違えないように、指示どおり入れてください。
- 新しい電池と一度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。
- 長時間使用しないときは、電池を取り出しておいってください。
- 液漏れを起こした場合は、柔らかい布で電池ケースについた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、漏れた液が身体についた場合は、皮膚に炎症を起こす恐れがあります。また眼に入ると危険ですのですぐに水でよく洗い流してください。
- 電池を、金属性のボールペン、ネックレス、ヘアピンなどと一緒に携帯したり、保管したりしないでください。
- 電池容量が少なくなるとディスプレイに「Battery low!」と表示されます。このメッセージが表示されたら、早めに新しい電池と交換してください。
- 電池の持続時間は、使用状況や電池の品種によって変わります。また SD カードの品種や容量によっても変わります。
- 電池のセットや交換は、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、他の機器と接続する前にこの機器の電源を切った状態で行ってください。
- この機器には、電池が付属されています。この電池は、機器の動作確認用のため、寿命が短い場合があります。
- 電池で使用する場合はアルカリ乾電池、充電式ニッケル水素電池を使用してください。
- 連続使用時の電池の寿命（電池の仕様や使用状態によって異なります）
アルカリ電池 約 6 時間

SD カードを入れる

カード・カバーは、以下の手順で開けられます。

カード・カバーを外す

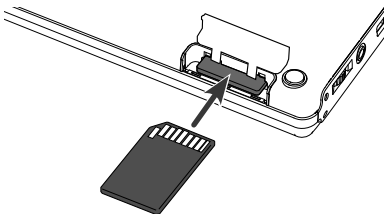
1. BR-80 本体を裏返します。
2. カード・カバーを下図の矢印の方向に引き出します。



- ・本機は SD カード／SDHC カードに対応しています。
- ・本体の電源を入れたまま、SD カードの抜き差しをしないでください。本体や SD カード内のデータが失われる可能性があります。
- ・SD カードは挿入方向や表裏に注意し、確実に奥まで差し込んでください。また無理な挿入はしないでください。
- ・SD カードの接点の部分に触れたり、汚したりしないでください。
- ・SD カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないものがあります。
- ・付属の SD カード以外を使う場合は、ローランド・ホームページ (<http://www.roland.co.jp/>) をご覧ください。最新の動作確認情報をご案内しています。

SD カードを挿入する

1. SD カードは、端子のある面を上にして「カチッ」と音がするまで押し込みます。



SD カードを取り出す

1. SD カードを奥に押し、指を離します。
2. SD カードが手前に出てきたら取り出します。

SD カードの書き込み禁止 (LOCK) 機能について

SD カードの側面にある書き込み禁止スイッチを「LOCK」方向にスライドさせると書き込みできなくなり、SD カード内のデータを保護することができます。録音やデータの削除などの操作をしたい場合は書き込み禁止を解除してお使いください。

書き込み許可

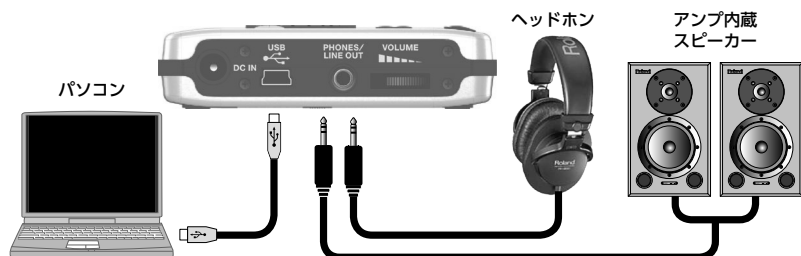
書き込み禁止
(LOCK)



使う前の準備をする

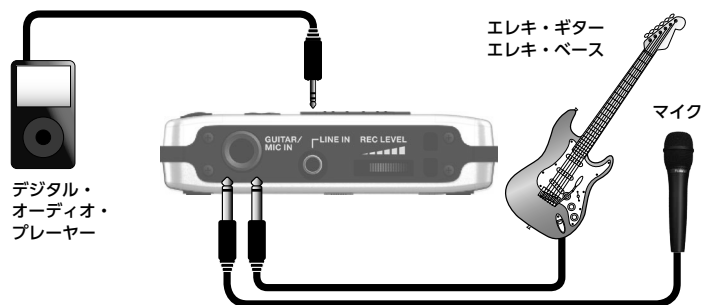
楽器やスピーカーを接続する

サイド・パネル (左)



パソコンに USB 接続すると、USB バス電源で動作します（ドライバーのインストールが必要です）。AC アダプターと一緒に使用する場合は、AC アダプターが優先されます。

サイド・パネル (右)



接続した機器に応じて、ボトム・パネルの [GUITAR/MIC] 切り替えスイッチを設定します。

※ 外部マイクはアンバランスの TS 標準プラグで接続してください。バランスの TRS 標準プラグは使用できません。



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

※ 抵抗入りの接続ケーブルを使用すると、インプット (LINE IN、GUITAR/MIC IN) に接続した機器の音量が小さくなることがあります。このときは、抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。

※ マイクとスピーカーの位置によっては、ハウリング音（キーンという音）が出ることがあります。その場合は、以下のように対処してください。

1. マイクの向きを変える
2. マイクをスピーカーから遠ざける
3. 音量を下げる

電源を入れる／切る

正しく接続したら (P.40)、必ず次の手順で電源を投入してください。手順を間違えると、誤動作をしたりスピーカーなどが破損する恐れがあります。

1. 電源を入れる前に次のことを確認します。

- ・ 外部機器と正しく接続されていますか？
- ・ BR-80 と接続する機器の音量が最小になっていますか？
- ・ SD カードが差し込まれていますか？ (P.39)

2. BR-80 の [VOLUME] ダイアルを最小にします。

3. 入力端子 (GUITAR/MIC IN 端子、LINE IN 端子) に接続した機器の電源をオンにします。

4. トップ・パネルの [⏻] ボタンを押して、電源を入れます。

5. PHONES/LINE OUT 端子に接続した機器の電源をオンにします。



ご注意！

- ・ この機器は回路保護のため、電源をオンにしてからしばらくは動作しません。
- ・ 電源を入れる／切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っても電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。
- ・ USB バス電源を使用するときは、使用中に USB ケーブルが抜けることのないように注意してください。USB ケーブルが抜けると、データが破損する恐れがあります。

メモ

工場出荷時には、メモリー・カード・スロットに SD カードが差し込まれています。

AC アダプター (別売) を接続する

別売の AC アダプター (PSA-100) を、BR-80 のサイド・パネル (左) にある DC IN 端子に接続します。
AC アダプターは必ず PSA-100 をお使いください。他のアダプターをお使いになると、発熱、故障などの原因となります。



※ AC アダプターを使用する場合でも電池を入れておくと、万一製品本体から AC アダプターのコードが抜けても続けて使用できます。

使う前の準備をする

電源を切る

.....

1. 曲の再生が停止していることを確認します。
2. PHONES/LINE OUT 端子に接続した機器の電源をオフにします。
3. 「Keep power on!」と表示されていないことを確認します。
4. トップ・パネルの [⏻] ボタンを 2 秒以上押して、電源を切ります。

自動で電源を切りたくない場合は「AUTO POWER OFF」の設定をオフにしてください！

BR-80 は演奏や操作をやめてから 30 分経過すると、自動的に電源が切れます（工場出荷時）。

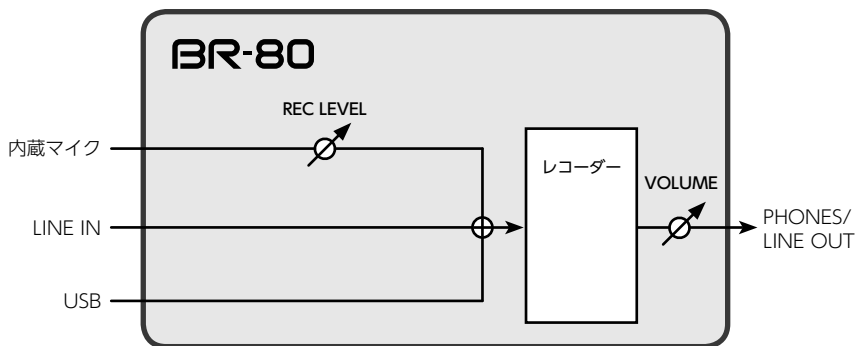
常に電源をオンにして使用したい場合は、117 ページの手順で「AUTO POWER OFF」の設定を「OFF」にしてください。

ご注意！

- 電源が切れると編集中のエフェクト設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください（P.111）。
その他の編集中の設定は、電源が切れるときに自動的に保存されます。
- オート・パワー・オフは電池、AC アダプターで動作しているときに有効です。パソコンと USB 接続しているときにははたらきません。
- 複数の電源を接続しているときの優先順位は、AC アダプター、USB バス電源、電池の順になります。

曲のアイデアを録る (LIVE REC モード)

LIVE REC モード時のオーディオ信号の流れ



- LIVE REC モードでは、GUITAR/MIC IN 端子は使用できません。
- LIVE REC モードでは、エフェクトはかかりません。
- LINE IN 端子と USB 端子からの信号は、内蔵マイクからの入力とミックスされてからレコーダーに入ります。音量バランスは接続した機器側で調節してください。
- LINE IN 端子、USB 端子に接続した機器の音だけを録音する場合は、[REC LEVEL] ダイアルを最小にしてください。

LIVE REC モードでの録音の流れ

LIVE REC モードは、BR-80 内蔵のマイクで簡単にステレオ録音できます。



録音の準備をする



LIVE REC モードに切り替える (P.45)
録音やソングの設定をする (P.49)



録音する／再生する



録音する (P.46)
再生する (P.47)



メトロノームを使って録音する

メトロノームを使って録音する (P.46)

※ 録音した曲は、MTR モードや eBand モードで取り込んだり、パソコンで利用したりできます。

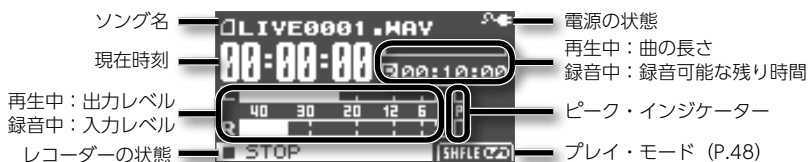
録音する／再生する

LIVE REC モードに切り替える

1. [⏻] ボタンを何度か押して、LIVE REC インジケーターを点灯させます。



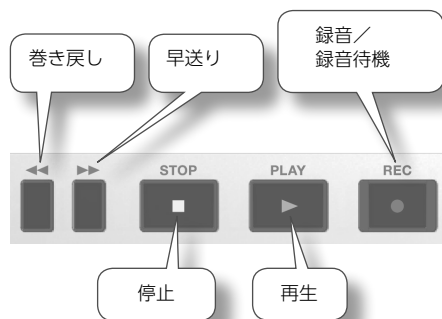
LIVE REC モードになり、基本画面が表示されます。



電源の状態

表示	解説
	AC アダプターから電源が供給されています。
	パソコンから電源が供給されています。
	電池残量は十分です。
	電池残量が減少しています。
	電池残量が少なくなっています。早めに新しい電池と交換してください。
	電池残量がありません。新しい電池と交換してください。

録音する



1. [●] (REC) ボタンを押して、録音待機状態にします。

[●] (REC) ボタンが点滅します。

2. [REC LEVEL] ダイアルで、録音レベルを調節します (P.49)。

3. [●] (REC) ボタンを押して、録音を始めます。

[●] (REC) ボタンが点灯し、録音が始まります。

ご注意！

- ・ 録音中に [REC LEVEL] ダイアルを操作すると、録音レベルが変わってしまいます。
[REC LEVEL] ダイアルを誤って操作しないよう気をつけてください。
- ・ 録音中は電源をオフにすることができません。一度録音を停止してから電源をオフにしてください。

4. [■] (STOP) ボタンを押して、録音を停止します。

[●] (REC) ボタンが消灯します。
ディスプレイには、録音したソング名が表示されます。

メモ

ソング名は、LIVE0001.WAV のように自動的に作成されます。
0001 の部分は存在するソング名の中で、最も大きい番号の次の番号がつけられます。

メトロノームを使って録音する

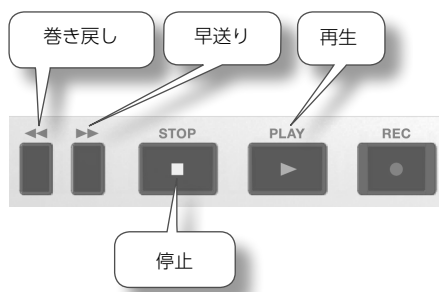
録音するときにメトロノームを使うと正確なテンポで録音できます。

1. [RHYTHM] ボタンを押します。
メトロノームがオンになります。
2. カーソル・ボタンでパラメーターを選び、ダイアルで設定します。

パラメーター	解説
BEAT	拍子を設定します。
TEMPO	テンポを設定します。
LEVEL	メトロノームの音量を設定します。
REC	ON：一緒に録音されます。
	OFF：音は鳴りますが録音されません。

メトロノームの設定画面で [ENTER] ボタンを押すと、メトロノームのオン／オフを切り替えられます。

再生する



1. ダイヤルで再生したいファイルを選びます。

メモ

ディスプレイに「No Song」と表示されている場合は、現在のフォルダー内にBR-80で再生できるファイルがありません。「No Card」と表示されている場合は、SDカードがセットされていません。

2. [▶] (PLAY) ボタンを押してファイルを再生します。

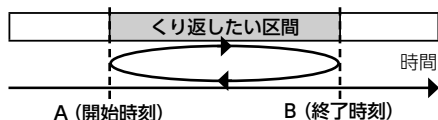
ご注意！

再生中に[◀◀]ボタンを押し続ける間は巻き戻し、[▶▶]ボタンを押し続ける間は早送りをします。それぞれのボタンから手を離すと再び再生します。

3. [VOLUME] ダイヤルで音量を調節します。
4. [■] (STOP) ボタンを押して再生を終了します。

くり返し再生させる
(ABリピート)

ギター・ソロなど、曲の一部分だけをくり返し再生して練習したいときに使います。



1. [▶] (PLAY) ボタンを押します。
ソングが再生されます。
2. リピートを開始したい時刻 (A) で [A ◀▶ B] ボタンを押します。
3. リピートを終了したい時刻 (B) で もう一度 [A ◀▶ B] ボタンを押します。

AB リピートがオンになり、くり返しが始まります。



AB リピート	解説
A ◀	AB リピートの時刻 A が登録された状態です。
A ◀▶ B	時刻 A と B の間をくり返し再生します (AB リピート)。

メモ

AB リピートを終了するには、もう一度 [A ◀▶ B] ボタンを押します。

再生のしかたを設定する (PLAY MODE)

ソングの再生のしかたを設定します。1 曲目から順番どおりに再生する基本的な再生や、選んでいる 1 曲だけを再生したり、ソングを順不同に再生（シャッフル再生）したりできます。

1. [TR7/8] (PLAY MODE) ボタンを押します。

プレイ・モードは、基本画面で次の図の位置で確認できます。



[TR7/8] (PLAY MODE) ボタンを押すたびにプレイ・モードが以下の表の順番で切り替わります。

プレイ・モード	解説
ONE →	1 曲だけを再生します。
ONE ↔	1 曲だけをくり返し再生します。
LIST →	LIVE REC モードで選べるすべてのソングを曲順に再生します。
LIST ↔	LIVE REC モードで選べるすべてのソングを曲順にくり返して再生します。
SHFLE	LIVE REC モードで選べるすべてのソングを順不同に再生します。
SHFLE ↔	LIVE REC モードで選べるすべてのソングを順不同にくり返して再生します。

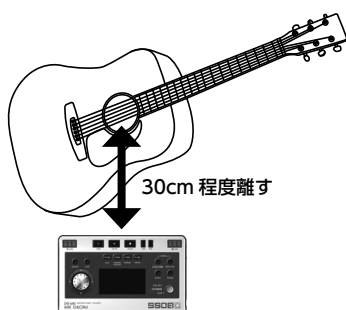
録音やソングの設定をする

録音レベルを設定する

BR-80 は、幅広い音を収録するように設計されていますが、録音対象に応じて最適な録音レベル（音量）設定を行うことで、より高音質で録音することができま

す。
レベル設定の基本は、歪まない範囲でできる限り大きなレベル（音量）で入力することです。

1. 録音したい対象に BR-80 のマイクを向けます。

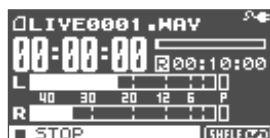


2. 基本画面で [●] (REC) ボタンを押して REC インジケーターを点滅させます。

録音待機状態になります。

3. マイクに向かって実際に録音する音を鳴らしてみます。

BR-80 に入力される音の大きさに応じてレベル・メーターが振れます。



楽器演奏やボーカルなど、音楽の演奏を録るときは楽曲の一番音量の大きい部分を演奏するとよいでしょう。

4. 音を鳴らしながら、[REC LEVEL] ダイヤルで録音レベルを少しずつ調節します。

レベル・メーターがこの範囲で変化するように調節する。



P（ピーク・インジケーター）が点灯すると音が割れてしまいます。

レベル・メーターが右に振れるほど大きな音を集音していることを表します。できるだけ大きく集音するように [REC LEVEL] ダイヤルを回して調節してください。

ただし、画面内のピーク・インジケーターが点灯してしまうと、入力音量が大きすぎる状態です。

※ 録音レベル操作時に小さなノイズが聞こえることがありますが、故障ではありません。

録音モードを設定する

録音モードによって、音質、ファイル・サイズ、録音可能時間が異なります。音質を優先するか、録音時間を優先するかなど、目的に合った設定が選べます。

1. [MENU] ボタンを押します。



録音やソングの設定をする

- カーソル [◀] [▶] ボタンで「REC SETUP」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

- ダイヤルで録音モードを設定します。

録音モード
WAV
MP3-64kbps
MP3-128kbps
MP3-192kbps
MP3-320kbps

WAV ファイルは MP3 ファイルよりも高音質で録音することができます。

MP3 の設定で録音すると、WAV の設定で録音したときよりもファイルのサイズが小さくなり、長時間の録音が可能になります。

bps の値を大きくすると高音質で録音できます。ただし、ファイルのサイズが大きくなるので、録音可能な時間は短くなります。

ご注意！

サンプリング周波数は 44.1kHz 固定です。

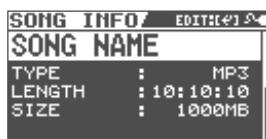
- [EXIT] ボタンを数回押して、基本画面に戻ります。

ソングの詳細を見る (SONG INFO)

ソングの情報を見たり、設定したりします。

- [MENU] ボタンを押します。
- カーソル [◀] [▶] ボタンで「SONG」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
- カーソル [◀] [▶] ボタンで「INFO」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SONG INFO 画面が表示されます。



SONG INFO	
SONG NAME	
TYPE	: MP3
LENGTH	: 10:10:10
SIZE	: 1000MB

- カーソル [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定します。

項目	解説
NAME	ソング名を編集します。 ソング名にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、ソング名の編集画面 (P.51) に切り替わります。
TYPE	ファイル形式を表示します。
LENGTH	ソングの長さ (時間) を表示します。
SIZE	ソングの容量 (ファイル・サイズ) を表示します。
LEVEL	ソングの音量を設定します。
PROTECT	ソングの保護のオン/オフを設定します。

ソングに名前をつける (SONG NAME)

新しくソングを作ると、「LIVE0001」のように名前が自動的につけられます。ソングが完成したら名前（ソング・ネーム）をつけておくと、管理しやすくなります。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SONG」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「INFO」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
SONG INFO 画面が表示されます。
4. カーソル [▲] [▼] ボタンでソング名にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
SONG NAME 画面が表示されます。



5. カーソル [◀] [▶] ボタンで、変更したい文字を選びます
6. ダイヤルを回して、文字を選びます。
カーソル [▲] ボタンを押すと、選択している場所に 1 文字挿入します。
カーソル [▼] ボタンを押すと、選択している文字を消去します。

7. [ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。
中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

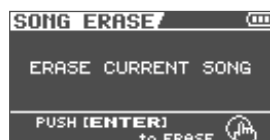
8. [ENTER] ボタンを押します。

名前の変更が実行されます。

ソングを消去する (SONG ERASE)

選択中のソングを消去します。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SONG」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「ERASE」を選び、[ENTER] ボタンを押します。



4. [ENTER] ボタンを押します。
「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。
中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

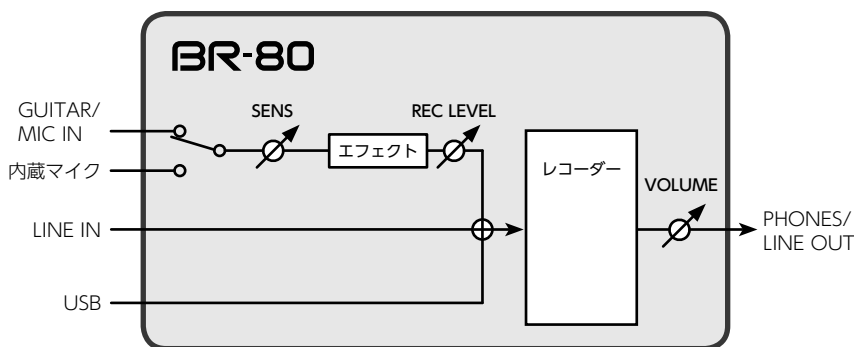
5. [ENTER] ボタンを押します。

消去が実行されます。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。
このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

アイデアをふくらませて 曲を作る (MTR モード)

MTR モード時のオーディオ信号の流れ



- GUITAR/MIC IN 端子に接続すると、内蔵マイクはオフになります。
- 内蔵マイクを使うときは、GUITAR/MIC IN 端子に何も接続しないでください。
- LINE IN 端子と USB 端子からの信号は、GUITAR/MIC IN 端子または内蔵マイクからの入力とミックスされてからレコーダーに入ります。音量バランスは接続した機器側で調節してください。
- LINE IN 端子、USB 端子に接続した機器の音だけを録音する場合は、[REC LEVEL] ダイアルを最小にしてください。

MTR モードでの曲制作の流れ

MTR モードは、8トラック同時再生のできるデジタル・レコーダーです。
録音からマスタリングまで、曲作りに必要な機能がそろっています。



録音の準備をする

接続する (P.40)
MTR モードに切り替える (P.55)
新しいソングを作る (P.57)、ソングを選ぶ (P.57)



録音する／再生する

録音する (P.57)
再生する (P.60)



エフェクトをかけて録音する

エフェクトを選ぶ (P.68)
エフェクトの詳細設定をする (P.110)



リズムを鳴らして録音する

リズムを使う (P.69)



曲を編集する

トラックを編集する (P.74)



マスタリングで曲を仕上げる

マスタリングする (P.81)

※ マスタリングしてできあがったソングは、eBand モードで再生したり、パソコンで利用したりできます。

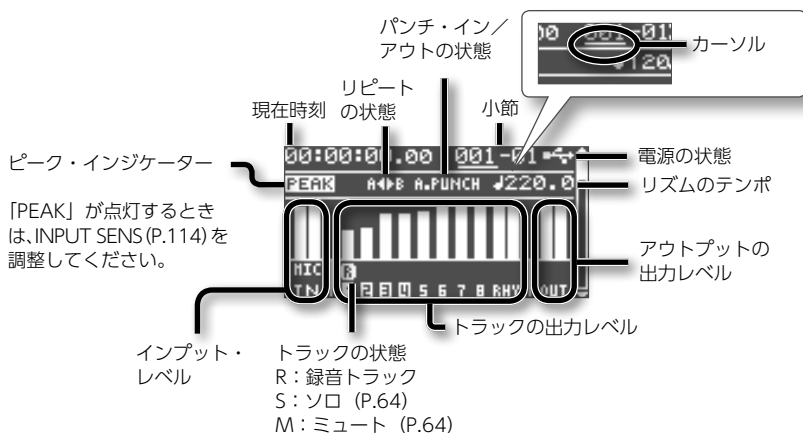
録音する／再生する

MTR モードに切り替える

1. [⏻] ボタンを何度か押して MTR インジケーターを点灯させます。



MTR モードになり、レベル・メーター画面が表示されます。



※ リズムのテンポが途中で変わるように設定されている場合、レベル・メーター画面でテンポは変更できません。

電源の状態

表示	解説
	AC アダプターから電源が供給されています。
	パソコンから電源が供給されています。
	電池残量は十分です。
	電池残量が減少しています。
	電池残量が少なくなっています。早めに新しい電池と交換してください。
	電池残量がありません。新しい電池と交換してください。

デモ・ソングを聴く

BR-80 に付属している SD カードには、デモ・ソングが入っています。ここでは、デモ・ソングの再生方法を紹介します。

1. [MENU] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。



2. カーソル・ボタンで [SONG] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

Song 画面が表示されます。



3. カーソル・ボタンで [SELECT] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

SONG SELECT 画面が表示されます。



4. カーソル [▲] [▼] ボタンで「DEMOSONG」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

レベル・メーター画面が表示されます。



5. [VOLUME] ダイアルを最小にします。



6. [▶] (PLAY) ボタンを押します。 デモ・ソングの再生がスタートします。

7. [VOLUME] ダイアルをゆっくり動かして、音量を調節します。



8. [■] (STOP) ボタンを押して、再生を停止します。

録音する

BR-80 では、「ソング」という単位で曲を管理しています。

新規で曲を作る場合は新しいソングを作ります (SONG NEW)。

BR-80 に保存してあるソングに追加で録音する場合はソングを選びます (SONG SELECT)。

新しいソングを作る (SONG NEW)

新たに曲を録音するときは、次のように操作してください。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「SONG」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンで「NEW」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

SONG NEW 画面が表示されます。



4. ダイヤルでソング・テンプレートよりカテゴリーを選びます。

ソング・テンプレートには、カテゴリーに合わせたリズムや、エフェクトがあらかじめ設定されています。

ソング・テンプレートを選びたくない場合は「NO CATEGORY」を選びます。

5. [ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

6. もう一度 [ENTER] ボタンを押します。

新しいソングができると、レベル・メーター画面に戻ります。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

ソングを選ぶ (SONG SELECT)

すでに保存したソングに追加で録音する場合は、次の手順でソングを選びます。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「SONG」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル・ボタンで「SELECT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

SONG SELECT 画面が表示されます。



現在選ばれているソングには「*」と表示されます。

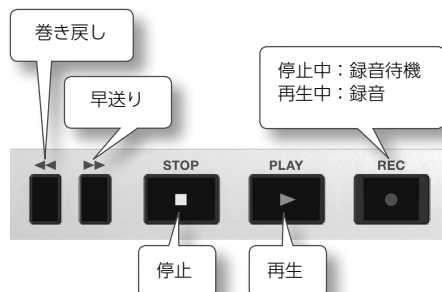
4. カーソル [▲] [▼] ボタンで曲を選びます。

5. [ENTER] ボタンを押します。

曲が選ばれると、レベル・メーター画面に戻ります。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

録音する



1. 録音する機器を接続します (P.40)。

接続した機器が自動的に選ばれます。何も接続しないときは、内蔵マイクが選ばれます。

メモ

- GUITAR/MIC IN 端子に機器を接続した場合は、GUITAR/MIC IN 端子が優先され、内蔵マイクはオフになります。
- LINE IN 端子や USB 端子に接続している場合は、GUITAR/MIC IN 端子または内蔵マイクからの入力とミックスされます。
- LINE IN 端子、USB 端子に接続した機器の音だけを録音する場合は、[REC LEVEL] ダイアルを最小にしてください。録音レベルは接続した機器側で調節してください。

2. トラック・ボタンを押して、録音トラックを選びます (P.59)。

3. [●] (REC) ボタンを押して、録音待機状態にします。

[●] (REC) ボタンが点滅します。

4. [REC LEVEL] ダイアルで、録音レベルを調節します。

録音する音の大きさを調節します。



ピーク・インジケーターが点く場合は、「INPUT SENS」を調整してください (P.114)。

5. 録音を始めます。

録音待機状態 ([●] (REC) ボタンが点滅) で [▶] (PLAY) ボタンを押します。

[●] (REC) ボタンが点灯し、録音が始まります。

ご注意!

- 録音中に [REC LEVEL] ダイアルを操作すると、録音レベルが変わってしまいます。
[REC LEVEL] ダイアルを誤って操作しないよう気をつけてください。
- 録音中は電源をオフにすることができません。一度録音を停止してから電源をオフにしてください。

6. [■] (STOP) ボタンを押して、録音を停止します。

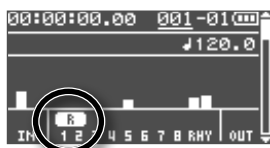
録音するトラックを選ぶ (REC TRACK)

録音するトラックを選びます。

1. トラック・ボタンを押して録音トラックを選びます。



録音トラックはレベル・メーター画面で次の図のように表示されます。



〔TR1/2〕ボタンを押した場合、ボタンを押すたびに、トラック 1 (モノ) → トラック 2 (モノ) → トラック 1 / 2 (ステレオ) → トラック 1... の順に切り替わります。

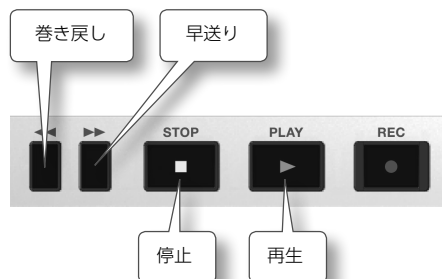
入力に内蔵マイクが選ばれている、または選択したトラックがステレオ・リンクされているときは、最初にトラック 1 / 2 (ステレオ) が選ばれます。



メモ

- ・モノで録音したいときは、「TR1」または「TR2」を選びます。
- ・ステレオで録音したいときは、「TR1/2」を選びます。
モノで入力された信号は、左右同じ信号が録音されます。
ステレオ入力された信号のL側が「TR1」、R側が「TR2」に録音されます。
- ・ステレオで録音すると、ミキサーの左右チャンネルのパラメーターが同時に変更できるようになります『ステレオ・トラックを作る (ステレオ・リンク)』(P.63)。

再生する



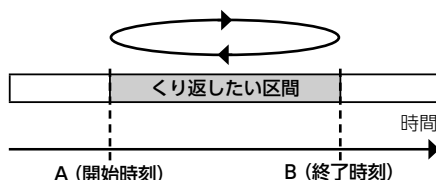
1. [■] (STOP) ボタンを押しながら [◀◀] ボタンを押して、曲の先頭に戻します。
2. [▶▶] (PLAY) ボタンを押して、ソングを再生します。
3. [VOLUME] ダイヤルで音量を調節します。
4. [■] (STOP) ボタンを押して、再生を終了します。

メモ

- [■] (STOP) ボタンを押しながら [◀◀] ボタンを押すと、曲の先頭に戻ります。
ただし、現在時刻が前回の録音開始時刻より後ろにある場合は、前回の録音開始時刻に戻ります。もう一度 [■] (STOP) ボタンを押しながら [◀◀] ボタンを押すと、曲の先頭に戻ります。
- [■] (STOP) ボタンを押しながら [▶▶] ボタンを押すと、曲の最後まで進みます。

くり返し再生させる (AB リPEAT)

リピート機能を使うと、ある一定区間をくり返し再生させることができます。



1. [▶▶] (PLAY) ボタンを押します。
ソングが再生されます。
2. リPEATを開始したい時刻 (A) で [A ◀▶ B] ボタンを押します。
3. リPEATを終了したい時刻 (B) で もう一度 [A ◀▶ B] ボタンを押します。

リPEATがオンになり、くり返しが始まります。

メモ

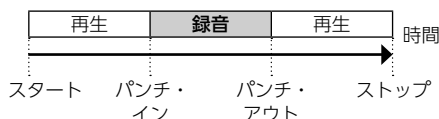
リPEATを終了するには、もう一度 [A ◀▶ B] ボタンを押します。

ミスしたところだけ録り直す (AUTO PUNCH IN/OUT)

録音の際、演奏を間違えたり、思ったように演奏できなかったりすることがあります。このようなときは、パンチ・イン／アウトをすることで、指定の部分だけ録音をやり直せます。

トラックを再生しながら途中で録音に切り替えることを「パンチ・イン」といい、また逆に、トラックに録音しながら途中で再生に切り替えることを「パンチ・アウト」といいます。

録音し直したいところでパンチ・インし、録音を終わったらパンチ・アウトします。



あらかじめ設定しておいた時刻で、パンチ・イン／パンチ・アウトを自動的に切り替えることを「オート・パンチ・イン／アウト」といいます。

※ オート・パンチ・イン／アウトを使う場合、パンチ・インとパンチ・アウトの間隔は 1.0 秒より長くなるようにしてください。

メモ

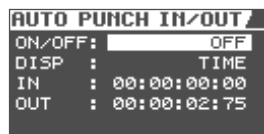
SD カードには、パンチ・イン／パンチ・アウトする前のデータが消えないで残ります。

SD カードの記憶容量を有効に使うために、ソング・オプティマイズ (P.88) で不要なデータを消去してください。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「A. PUNCH」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。



3. カーソル [▲] [▼] ボタンで「ON/OFF」にカーソルを合わせ、ダイヤルで「ON」にします。



4. カーソル [▲] [▼] ボタンで「DISP」にカーソルを合わせ、ダイヤルで設定する時刻の単位を選びます。

設定値	解説
TIME	時間単位で設定します。
MEASURE	小節単位で設定します。

メモ

時間単位で位置を設定した後、小節単位に切り替えると、小節表示の後に「+」が表示される場合があります。これは、表示されている小節の位置と実際の位置がズレていることを示しています。

小節の位置を設定し直すと、ズレをなくすることができます。

5. カーソル [▲] [▼] ボタンで [IN] にカーソルを合わせ、ダイヤルでパンチ・インしたい位置を登録します。
6. カーソル [▲] [▼] ボタンで [OUT] にカーソルを合わせ、ダイヤルでパンチ・アウトしたい位置を登録します。

メモ

IN、または OUT にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、現在時刻が登録されます。

7. [EXIT] ボタンを数回押して、レベル・メーター画面に戻ります。

ディスプレイに「A. PUNCH」と表示され、パンチ・イン／アウトが登録されていることを示します。



録音する

あらかじめオート・パンチ・イン／アウトの位置を設定しておいた状態で、録音済みのトラック 1 の一部分を録音し直す操作を例にとりて説明します。

1. 曲を再生し、入力の音量を [REC LEVEL] つまみで調節します。
録音し直すトラックと入力を聴き比べ、音量差がないように [REC LEVEL] つまみで調節してください。
2. 録音し直す手前の位置まで移動します。
3. トラック 1 を選び、[●] (REC) ボタンを押して録音待機状態にします。
4. [▶] (PLAY) ボタンを押します。
録音し直す位置で自動的にパンチ・インになりますので、演奏を録音し直してください。録音中は [●] (REC) ボタンが点灯します。
パンチ・アウトの位置になったら自動的に再生状態に戻り、[●] (REC) ボタンが消灯します。

トラックの設定をする(ミキサー画面)

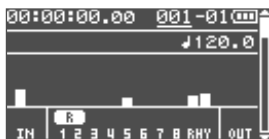
ミキサー画面上でトラックごとの設定をします。

ミキサー画面は、カーソル [▲] [▼] ボタンで次の表の順番に切り替えられます。

画面	ページ
レベル・メーター画面	P.63
TRACK LEVEL 画面	P.63
TRACK PAN 画面	P.64
TRACK MUTE&SOLO 画面	P.64
TRACK EQ 画面	P.64
REVERB SEND 画面	P.65
V-TRACK 画面	P.65

トラックのレベルを表示する(レベル・メーター)

MTR モードで基本になる画面です。
この画面を表示するには [EXIT] ボタンを何度か押します。



メモ

カーソル [▼] ボタンを押すと、TRACK LEVEL 画面に切り替わります。

音量バランスを調節する(TRACK LEVEL)

トラックごとの音量を調節します。



1. カーソル [◀] [▶] ボタンでトラックを選びます。
2. ダイヤルで音量を調節します。

メモ

カーソル [▲] ボタンを押すと、レベル・メーター画面に切り替わります。

カーソル [▼] ボタンを押すと、TRACK PAN 画面に切り替わります。

ステレオ・トラックを作る(ステレオ・リンク)

TRACK LEVEL 画面で [ENTER] ボタンを押すと、となり合う奇数トラックと偶数トラック(トラック 1 とトラック 2 など) がペアになります。



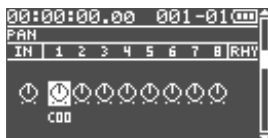
ステレオ・リンクに設定すると、両トラックの設定を同時に変更できるようになります。

もう一度 [ENTER] ボタンを押すと、ステレオ・リンクは解除されます。

トラックの設定をする (ミキサー画面)

音の定位を調節する (TRACK PAN)

トラックごとの左右の定位を設定します。



1. カーソル [◀] [▶] ボタンでトラックを選びます。
2. ダイアルでパンを調節します。

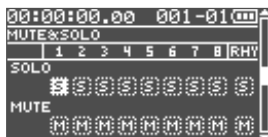
メモ

カーソル [▲] ボタンを押すと、TRACK LEVEL 画面に切り替わります。

カーソル [▼] ボタンを押すと、TRACK MUTE&SOLO 画面に切り替わります。

ミュートやソロを設定する (TRACK MUTE&SOLO)

トラックごとに消音 (ミュート)、ソロを設定します。



1. カーソル [▲] [▼] ボタンで SOLO、MUTE を選びます。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンでトラックを選びます。

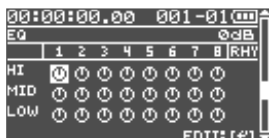
3. ダイアルでソロやミュートのオン／オフを設定します。

メモ

カーソル [▲] ボタンを押すと、TRACK PAN 画面に切り替わります。
カーソル [▼] ボタンを押すと、TRACK EQ 画面に切り替わります。

音質を調節する (TRACK EQ)

トラックごとに音質を調節します。
EQ (イコライザー) は、高域、中域、低域に分かれています。



1. カーソル [▲] [▼] ボタンで HI、MID、LOW を選びます。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンでトラックを選びます。
3. ダイアルで音質を調節します。

メモ

カーソル [▲] ボタンを押すと、TRACK MUTE&SOLO 画面に切り替わります。
カーソル [▼] ボタンを押すと、REVERB SEND 画面に切り替わります。

EQの詳細設定をする

1. TRACK EQ 画面で [ENTER] ボタンを押します。

トラック EQ の詳細設定画面が表示されます。



2. カーソル [◀] [▶] ボタンでトラックを選びます。
3. カーソル [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで値を変更します。

パラメーター	設定値
ON/OFF	OFF, ON
HIGH CUT	700Hz ~ 11kHz, FLAT
HIGH GAIN	-20dB ~ +20dB
MID FREQ	20Hz ~ 10kHz
MID Q	0.5 ~ 16
MID GAIN	-20dB ~ +20dB
LOW GAIN	-20dB ~ +20dB
LOW CUT	FLAT, 55Hz ~ 800Hz
LEVEL	-20dB ~ +20dB

4. [EXIT] ボタンを押して、TRACK EQ 画面に戻ります。

リバーブを調節する (REVERB SEND)

トラックごとに残響（リバーブ）のかかり具合を調節します。



1. カーソル [◀] [▶] ボタンでトラックを選びます。
2. ダイアルでリバーブへのセンド量を調節します。

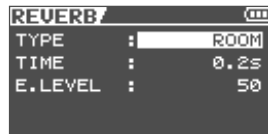
メモ

カーソル [▲] ボタンを押すと、TRACK EQ 画面に切り替わります。
カーソル [▼] ボタンを押すと、V-TRACK 画面に切り替わります。

リバーブの詳細設定をする

1. REVERB SEND 画面で [ENTER] ボタンを押します。

リバーブの詳細設定画面が表示されます。



トラックの設定をする（ミキサー画面）

- カーソル [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで値を変更します。

パラメーター	設定値
TYPE	ROOM、HALL、PLATE
TIME	0.1s ～ 10.0s
E.LEVEL	0 ～ 100

- [EXIT] ボタンを押して、REVERB SEND 画面に戻ります。

Vトラックを切り替える (V-TRACK)

BR-80 の各トラックにはそれぞれ 8 本の V トラックがあり、その中からどれか 1 つを選んで録音／再生します。V トラックを使えば、ギター・ソロやボーカルなど、いくつものテイクを録音して聴き比べ、気に入ったテイクだけを使うことができます。



- カーソル [◀] [▶] ボタンでトラックを選びます。
- ダイヤルで V トラックを変更します。

表示	解説
ト-	現在選ばれている V トラック (録音データがある)

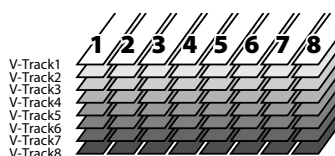
表示	解説
ト・	現在選ばれている V トラック (録音データがない)
-	録音データがある V トラック
・	録音データがない V トラック

V トラックとは

各トラックは 8 つの仮想トラックから構成されています。その中から 1 つを選んで、録音や再生をします。

つまり、最大で $8 \times 8 = 64$ トラックに演奏を録音することができ、トラックごとに 1 つの仮想トラックを選んで再生することができます。

この各トラックを構成する仮想トラックを「V トラック」と呼びます。



メモ

カーソル [▲] ボタンを押すと、REBERB SEND 画面に切り替わります。

エフェクトを使う (EFFECT)

MTRモードには、4系統のエフェクト(インサート・エフェクト、リバーブ (P.65)、トラックEQ (P.64)、マスタリング・エフェクト (P.81)) が内蔵されています。

エフェクト・パッチとカテゴリー

インサート・エフェクトで使用するエフェクトとパラメーターは、「エフェクト・パッチ」を呼び出すことで切り替えることができます。

BR-80には、ボーカルやさまざまな楽器に対応したエフェクト・パッチがあらかじめ用意されています。これらは7つに分類されており、この分類を「カテゴリー」と呼びます。

プリセット・パッチ

プリセット・パッチには、あらかじめエフェクト・パッチのデータが書き込まれています。設定を変更したパッチは、ユーザー・パッチやソング・パッチとして保存できます。

ギター用



ギター・トゥー・ベース



アコースティック・シミュレーター



ベース用



アコースティック・ギター・マルチ



ボーカル用



内蔵マイク用



ユーザー・パッチ

ユーザー・パッチはエディットした結果を本体に保存します。自分が作ったエフェクト・パッチを他の曲でも使いたい場合には、ユーザー・パッチとして記憶させると便利です。

ソング・パッチ

ソング・パッチはエディットした結果を曲のデータと一緒にSDカードに保存します。演奏を録音したときに使ったエフェクト・パッチを、曲ごとに保存しておきたい場合に便利です。

エフェクトを使う (EFFECT)

エフェクトを選ぶ

GUITAR/MIC IN 端子または内蔵マイクからの入力にけるエフェクトを選びます。

1. [COSM] ボタンを押します。

エフェクト・パッチ選択画面が表示されます。



[COSM] ボタンを押すたびにエフェクトのオン／オフが切り替わります。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「CATEGORY」にカーソルを合わせ、ダイヤルでカテゴリーを選びます。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「PATCH」にカーソルを合わせ、ダイヤルでパッチを選びます。



4. [EXIT] ボタンを数回押して、レベル・メーター画面に戻ります。

メモ

エフェクトについて詳しくは、『エフェクトの詳細設定をする』(P.110)をご覧ください。

リズムを使う (RHYTHM)

BR-80 には、トラック 1 ～ 8 のオーディオ・トラックとは別に、リズム専用のトラックが用意されています。

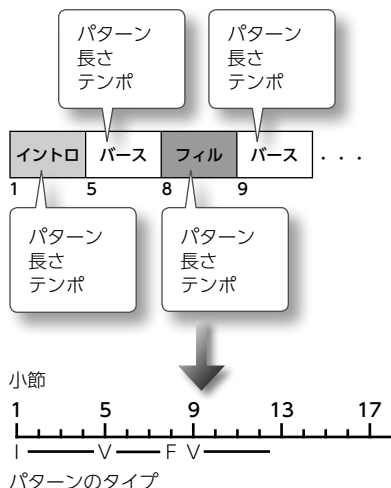
録音時のガイドとしてリズムを演奏させることはもちろん、内蔵のリズムを曲の構成に合わせて並べることで、オリジナルのリズムを作成することができます。バンドでドラムを演奏するときなど、通常、1 小節～2 小節程度の決まった演奏をくり返します。このくり返しの基本となる演奏データのことを、BR-80 では「パターン」と呼びます。

イントロ用／バース用／フィル用／エンディング用／メトロノーム用のパターンが用意されています。

パターンのタイプ	解説
I (イントロ)	イントロ (前奏) を受け持つ演奏パターンです。
V (バース)	主となる演奏パターンです。
F (フィル)	フレーズのつなぎ目などに入れる装飾的な演奏パターンです。
E (エンディング)	楽曲の終わりの部分を受け持つ演奏パターンです。
M (メトロノーム)	メトロノームが鳴る演奏パターンです。
B (ブレイク)	音の鳴らない演奏パターンです。
S (ソング)	SMF インポート (P.72) で作成した演奏パターンです。

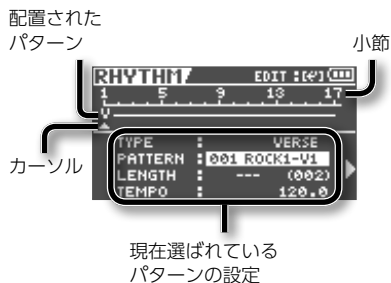
リズムの進行を作る (EDIT)

ひとつのパターンだけでもメトロノームのように練習のガイドとして使うことができますが、それでは曲の最初から最後まで変化のないリズムになってしまいます。音楽的に変化のついた曲を作る場合には、異なったいくつかのパターンを、イントロ→コーラス→サビ→エンディングのように並べます。



1. [RHYTHM] ボタンを押します。

RHYTHM 画面が表示されます。



リズムを使う (RHYTHM)

- カーソル [◀] [▶] ボタンで配置されているパターンにカーソルを合わせます。

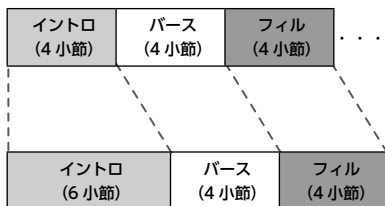
- カーソル [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選びます。

[RHYTHM] ボタンを押すと、現在選ばれているパターン (カレント・パターン) の音を鳴らして確認することができます。

- ダイヤルで設定値を変更します。

パラメーター	説明
TYPE	パターンのタイプを選びます。
PATTERN	タイプ内のパターンを選びます。
LENGTH	カレント・パターンの長さを設定します。 パターンの長さを変更すると、カレント・パターンより後ろにあるパターンも連動して移動します。 最後のパターンで LENGTH の値を「--」に設定したときは、そのパターンをくり返し再生し続けます。 ※ () 内の数値は、選んだパターン自体の長さを表します。

イントロを 4 小節から 6 小節に増やします。



イントロに続くパターンが 2 小節後ろにズれます。

パラメーター	説明
TEMPO	カレント・パターンを演奏するときのテンポを設定します。 設定値: 25.0 ~ 250.0 TEMPO の値を「--」に設定したときは、前のパターンのテンポで演奏します。

- 続けてパターンを設定するときは手順 2 ~ 4 をくり返します。

- リズム進行作成を終了するときは、[EXIT] ボタンを数回押してレベル・メーター画面に戻ります。

レベル・メーター画面に戻り、リズム進行が保存されます。

パターンを挿入する

新しいパターンを挿入します。

- [RHYTHM] ボタンを押します。

RHYTHM 画面が表示されます。

- カーソル [◀] [▶] ボタンでパターンを挿入する位置を選びます。

新しいパターンは、ここで選んだパターンの前に挿入されます。

- [ENTER] ボタンを押します。

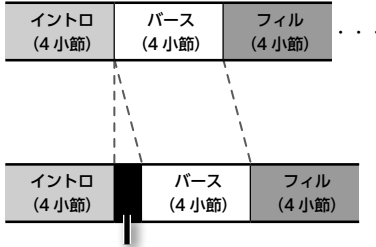
EDIT モードに入ります。



- カーソル [◀] [▶] ボタンで「INSERT」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

1 小節のパターンが挿入されます。
挿入されたパターンのタイプは B (ブレイク) になります。

バースを選んで
パターンを挿入します。

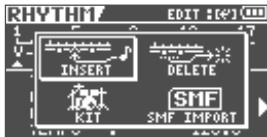


バースの前にブレイクが
1 小節追加されます。

パターンを削除する

選んだパターンを削除します。

1. [RHYTHM] ボタンを押します。
RHYTHM 画面が表示されます。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで削除するパターンを選びます。
3. [ENTER] ボタンを押します。
EDIT モードに入ります。

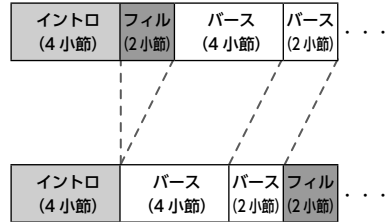


4. カーソル [◀] [▶] ボタンで「DELETE」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

5. [ENTER] ボタンを押します。

削除が実行されます。

フィルを選んで
パターンを削除します。



後ろのパターンが
前に詰められます。

リズム進行を初期化する

リズムに配置したすべてのパターンを削除して、初期状態に戻します。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル・ボタンで「FUNCTION」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「INIT RHYTHM」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

4. もう一度 [ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

5. 削除するときは「YES」を選んで [ENTER] ボタンを、中止するときは「NO」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

リズムを使う (RHYTHM)

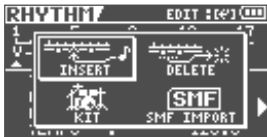
ドラムの音色 (ドラム・キット) を変える (KIT)

一般にドラムを演奏する場合、演奏したい音楽ジャンルに合うように、キック・ドラム、スネア・ドラムなど、さまざまな音色の打楽器を組み合わせてひとつのドラム・セットにします。

BR-80 では、音楽ジャンルに合わせた9種類の組み合わせを内蔵しています。この組み合わせのことを「ドラム・キット」と呼びます。

ドラム・キットは、いろいろなリズム楽器の音を1つのセットにしたものです。本体には「プリセット・ドラム・キット」として9種類が内蔵されています。

- 1. [RHYTHM] ボタンを押します。
RHYTHM 画面が表示されます。
- 2. [ENTER] ボタンを押して EDIT モードに入ります。



- 3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「KIT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。



- 4. ダイアルを回して、ドラム・キットを選びます。

設定値	解説
1. STANDARD 1	標準的なドラム・キット
2. STANDARD 2	
3. ROOM	適度なアンビエンスの効いたドラム・キット
4. HARD	ハード・ロックに適したドラム・キット
5. JAZZ	JAZZ に適したドラム・キット
6. HIP-HOP	ダンス・ミュージックに適したドラム・キット
7. HOUSE	
8. REGGAE	レゲエに適したドラム・キット
9. 808	リズム・マシンの名機「ローランド TR-808」を基本としたドラム・キット

- 5. [EXIT] ボタンを数回押して、レベル・メーター画面に戻ります。

SMF ミュージック・データからリズムを取り込む (SMF IMPORT)

パソコン上の SMF ミュージック・データをリズム・パターンとして取り込むこと（インポート）ができます。パソコンなどで作成した SMF ミュージック・データを SD カードにコピーしておけば、簡単にリズム・パターンを増やすことができます。

取り込み可能な SMF ミュージック・データの条件は以下のとおりです。

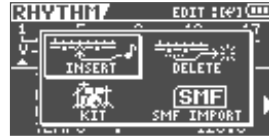
フォーマット	SMF フォーマット 0 または 1
ファイル・サイズ	最大 240KB (SMF の 内容によって若干変化 します)
小節数	999 小節未満
ノート数	全パターンの合計が 4999 音以下
MIDI チャンネル	CH10 のみ

対応しているノート・ナンバーは下の表のとおりです。

ドラム音色	ノート・ナンバー
TOM 4	41
TOM 3	45
TOM 2	48
TOM 1	50
COWBELL	56
CROSS STICK	37 (31)
RIDE CYMBAL	51
CRASH CYMBAL	49
OPEN HIHAT	46
CLOSED HIHAT	42
SNARE	38 (40)
KICK	36 (35)

1. インポートしたい SMF ミュージック・データを、あらかじめパソコンで SD カードの ROLAND/SMF フォルダに書き込んでおきます。
2. [RHYTHM] ボタンを押します。

3. [ENTER] ボタンを押して、EDIT モードに入ります。



4. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SMF IMPORT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。



インポート先のパターン名の右側に表示されているアイコンで、そのパターンにデータが存在するか確認できます。

- : データなし
- : データあり

5. インポートするファイル (FILE) を選びます。
6. インポート先のパターン (DEST) を選んで [ENTER] ボタンを押します。

レベル・メーター画面に戻ります。

ご注意!

- ・パターンの最大同時発音数は 5 音です。同じタイミングで最大 5 つのドラム音を発音させることができます。
- ・シンバルのような余韻の長い音の場合、音が完全に消える前に次のタイミングの発音数が 5 音あると、前の発音が途中で終わる場合があります。

トラックを編集する (TRACK EDIT)

トラックのコピーや消去をしたり、eBand モードや LIVE REC モードのデータを取り込んだりできます。

メモ

トラック・エディットで編集した内容は、レベル・メーター画面に戻るときに保存されます。

1. [MENU] ボタンを押します。



2. カーソル・ボタンで「TRACK EDIT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。



3. カーソル [◀] [▶] ボタンで編集したい項目を選び、[ENTER] ボタンを押します。

トラック・エディットでは、次のことができます。

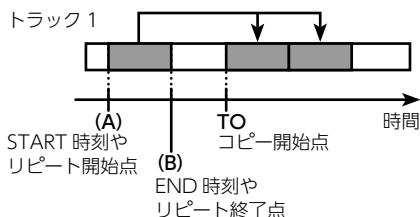
項目	ページ
録音データをコピーする (COPY)	P.74
録音データを移動する (MOVE)	P.76
録音データを消去する (ERASE)	P.76
録音データを入れ替える (EXCHANGE)	P.77
音声データを取り込む (IMPORT)	P.78

項目	ページ
操作を取り消す (UNDO/REDO)	P.78

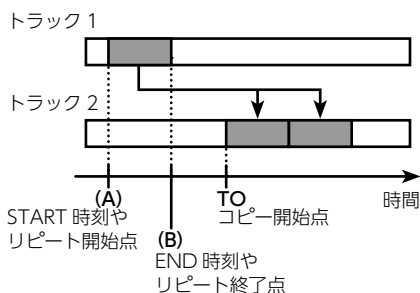
録音データをコピーする (TRACK COPY)

指定したトラックのデータを、指定したトラックにコピーします。コピー先に録音データがある場合は、コピーしたデータで上書きされます。

例 1 :
同じトラックに 2 回コピーする場合



例 2 :
別のトラックに 2 回コピーする場合

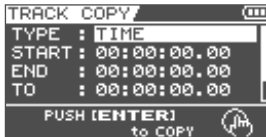


- カーソル・ボタンとダイヤルを使って、コピー元 (SOURCE) とコピー先 (DEST) のトラック/Vトラックを選びます。



- [ENTER] ボタンを押します。

時刻設定画面が表示されます。



- カーソル・ボタンとダイヤルで時刻とコピー回数を設定します。

選んだタイプによって表示されるパラメーターが変わります。

パラメーター	説明
TYPE	
AB (TIME)	AB リピート (P.60) で設定した時刻を START、END に設定します。 TO を時刻で設定します。
AB (MEASURE)	AB リピート (P.60) で設定した時刻を START、END に設定します。 TO を小節で設定します。
TIME	START、END、TO を時刻で設定します。
MEASURE	START、END、TO を小節で設定します。
ALL (TIME)	トラックすべてをコピーします。 TO を時刻で設定します。
ALL (MEASURE)	トラックすべてをコピーします。 TO を小節で設定します。

パラメーター	説明
START	
時刻または小節	コピー元の開始点を設定します。
END	
時刻または小節	コピー元の終了点を設定します。
TO	
時刻または小節	コピー先の開始点を設定します。
REPEAT	
1 ~ 99	くり返し回数を設定します。

- コピーする場合は、[ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

- [ENTER] ボタンを押します。

コピーが実行されます。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。
このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

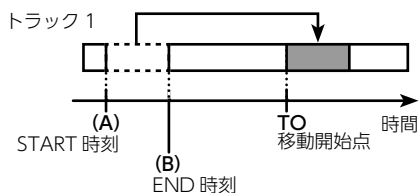
トラックを編集する (TRACK EDIT)

録音データを移動する (TRACK MOVE)

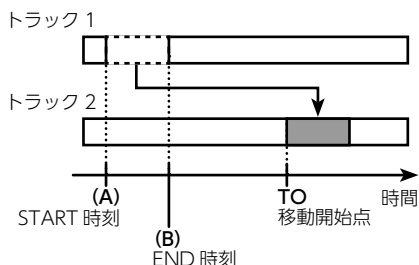
指定したトラックのデータを移動します。

移動先に録音データがある場合は、移動したデータで上書きされます。

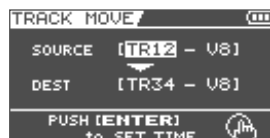
例 1：同じトラックで移動させる



例 2：別のトラックに移動させる



1. カーソル [◀] [▶] ボタンとダイヤルで、移動元 (SOURCE) と移動先 (DEST) のトラック/Vトラックを選びます。



2. [ENTER] ボタンを押します。

時刻設定画面が表示されます。



3. カーソル・ボタンとダイヤルで時刻を設定します。

4. 移動する場合は、[ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

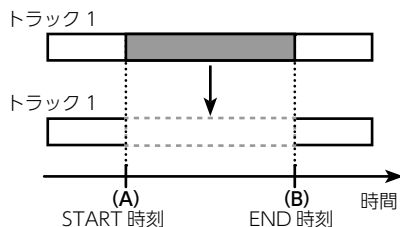
5. [ENTER] ボタンを押します。

移動が実行されます。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

録音データを消去する (TRACK ERASE)

指定した範囲のデータを消去します。



1. カーソル [◀] [▶] ボタンとダイヤルで、消去するトラック/Vトラックを選びます。



2. [ENTER] ボタンを押します。

時刻設定画面が表示されます。



3. カーソル・ボタンとダイヤルで時刻を設定します。

4. 消去する場合は、[ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

5. [ENTER] ボタンを押します。

消去が実行されます。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

録音データを入れ替える (TRACK EXCHANGE)

2つのトラックのデータを入れ替えます。

例：

トラック 1 と 2 をすべて入れ替える

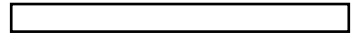
トラック 1：ギター



トラック 2：ボーカル



トラック 1：ボーカル



トラック 2：ギター



1. カーソル [◀] [▶] ボタンとダイヤルで、入れ替えるトラック/Vトラックを選びます。



2. 入れ替える場合は、[ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

トラックを編集する (TRACK EDIT)

3. [ENTER] ボタンを押します。

入れ替えが実行されます。

- ※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

音声データを取り込む (TRACK IMPORT)

指定したトラックに、LIVE REC モードや eBand モードで録音したデータを取り込みます。

この操作を実行する前に、音声データを取り込むソングを選んでおきます。

LIVE REC モード (P.47)

eBand モード (P.94)

1. カーソル [▲] [▼] ボタンとダイヤルで、取り込むデータとトラック／Vトラックを選びます。



2. [ENTER] ボタンを押します。

時刻設定画面が表示されます。



3. カーソル・ボタンとダイヤルでインポート先の時刻を設定します。

4. データを取り込む場合は、[ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

5. [ENTER] ボタンを押します。

取り込みが実行されます。

- ※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

操作を取り消す (UNDO / REDO)

思ったように録音できなかったり、編集の設定が間違っていたりして、操作をやり直したいときは「アンドゥ」を使います。

アンドゥとは、操作を取り消して 1 つ前の状態に戻すことをいいます。アンドゥ操作を取り消すときは、「リドゥ」を使います。

たとえば、パンチ・イン・レコーディングの操作で、同じ箇所の録音を続けて 2 回したとします。その後、直前の録音を取り消して 1 回目の録音が終わったときの状態に戻したいときは、アンドゥを実行します。

アンドゥをした後に、アンドゥを取り消して 2 回目の録音が終わったときの状態に戻したいときは、リドゥを実行します。

ご注意!

- ・ アンドゥを実行した後は、リドゥしか実行できません。
- ・ アンドゥは、トラックに録音された音声データに対して有効です。

1 つ前の状態に戻す (UNDO)

直前に行った録音や編集操作を取り消すときは、アンドゥを実行します。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「TRACK EDIT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「UNDO/REDO」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
UNDO/REDO 画面が表示されます。
4. アンドゥを実行するときは、[ENTER] ボタンを押します。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

アンドゥを取り消す (REDO)

直前に行ったアンドゥを取り消すときは、リドゥを実行します。

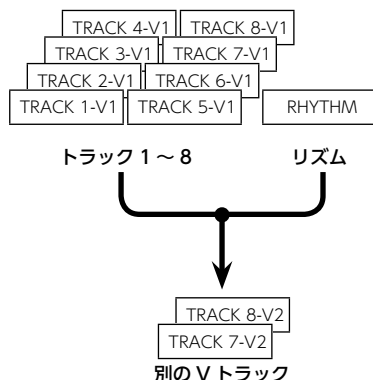
1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「TRACK EDIT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「UNDO/REDO」を選び、[ENTER] ボタンを押します。
UNDO/REDO 画面が表示されます。
4. リドゥを実行するときは、[ENTER] ボタンを押します。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

マスタリングする

トラックの演奏をまとめる (BOUNCE)

BR-80 は、8 つまでのトラックを同時に再生することができますが、空きのトラックがなくなってきたときは、複数のトラックの演奏を 1 つにまとめて別トラック (V トラック) に録音します。このような操作を「バウンス」といいます。複数のトラックをまとめることで、空いたトラックに新たに演奏を録音することができるようになります。バウンス・モードでは、8 つのトラックすべてを再生させながら、それらを 1 つにまとめて別の V トラックに録音することができます。



1. ミキサー画面 (P.63～P.65) で再生トラックの設定をします。

2. [MENU] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

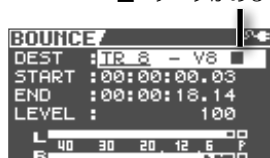


3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「MASTERING/BOUNCE」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

4. カーソル [◀] [▶] ボタンで「BOUNCE」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

BOUNCE 画面が表示されます。

□ : データがない V トラック
■ : データがある V トラック



バウンス先の V トラック名の右側に表示されているアイコンで、その V トラックにデータが存在するか確認できます。

5. バウンスの設定をします。

カーソル [▲] [▼] ボタンとダイヤルを使って変更したい項目を選び、ダイヤルで設定を変更します。

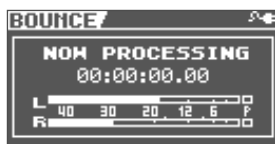
パラメーター	解説
DEST	バウンス先のVトラックを指定します。
START	バウンスの開始位置を設定します。
END	バウンスの終了位置を設定します。
LEVEL	バウンスして録音されるVトラックの音量を設定します。音が歪まない範囲で、できるだけ音量レベルを上げるようにしてください。

6. [●] (REC) ボタンを押します。

録音待機状態になります。

7. [▶] (PLAY) ボタンを押します。

バウンスが始まります。



バウンスを停止するときは [■] (STOP) ボタンまたは [EXIT] ボタンを押します。

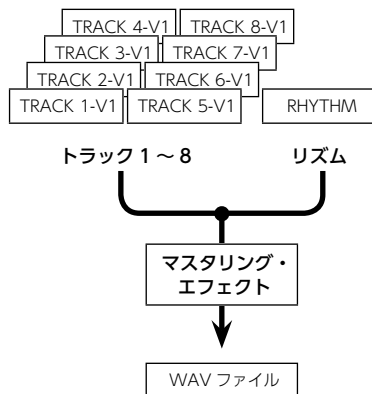
バウンスが終了すると、レベル・メーター画面に戻ります。

メモ

END の時刻でバウンスは自動的に止まります。

マスタリングする (MASTERING)

各トラックに録音したデータを WAV ファイルにまとめ、「マスタリング・エフェクト」をかけることで最適化された音量レベルの曲に仕上げます。



マスタリング・エフェクトとは

録音した曲を元に音楽 CD を作成する場合、曲中で最も音量の大きな部分が CD に収まるように全体の音量を抑えなければなりません。しかしこうすると全体的に音量が下がり、迫力のない音楽になってしまいます。

また、人間の耳には感じにくい低音域では、レベル・メーターがいっぱいに振っているにもかかわらず実際の音は小さく聞こえてしまいます。そのため、迫力のある音楽を作る妨げになることがあります。

「マスタリング・エフェクト」を使うと、曲中の音量のバラツキをそろえ、低音域のバランスを整えることができます。最終的な曲の仕上げに、マスタリング・エフェクトを使ってマスタリングをすることをおすすめします。

マスタリングする

※ マスタリング・エフェクトには、あらかじめ用意されている「プリセット・パッチ」が 19 種類 (P01 ~ P19)、書き替え可能で本体に記憶される「ユーザー・パッチ」が 10 種類 (U01 ~ U10) 曲ごとに記憶される「ソング・パッチ」が 10 種類 (S01 ~ S10) あります。

1. ミキサー画面 (P.63 ~ P.66) で再生トラックの設定をします。

2. [MENU] ボタンを押します。

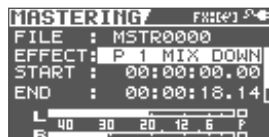
Menu 画面が表示されます。



3. カーソル・ボタンで「MASTERING/BOUNCE」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

4. カーソル [◀] [▶] ボタンで「MASTERING」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

マスタリング・モードになり、MASTERING 画面が表示されます。



5. マスタリングの設定をします。

カーソル [▲] [▼] ボタンとダイヤルを使って変更したいパラメーターを選び、ダイヤルで設定を変更します。

パラメーター	解説
FILE	マスタリングをして作られる WAV ファイルのファイル名を表示します。
EFFECT	マスタリング・エフェクトを選びます。
START	マスタリングの開始位置を設定します。
END	マスタリングの終了位置を設定します。
LEVEL	マスタリングをして作られる WAV ファイルの音量を設定します。 音が歪まない範囲で、できるだけ音量レベルを上げるようにしてください。

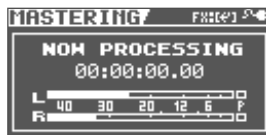
[▶] (PLAY) ボタンを押すと、現在の設定でマスタリングしたときの結果を試聴できます。

6. [●] (REC) ボタンを押します。

録音待機状態になります。

7. [▶] (PLAY) ボタンを押します。

マスタリングが始まります。



マスタリングを停止するときは [■] (STOP) ボタンまたは [EXIT] ボタンを押します。

マスタリングが終了すると、レベル・メーター画面に戻ります。

メモ

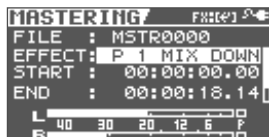
- END の時刻でマスタリングは自動的に止まります。
- マスタリングした曲は、ROLAND/MASTERING フォルダに WAV ファイルとして保存されます。
- 保存された WAV ファイルは、eBand モードで呼び出して演奏できます (P.94)。

マスタリング・エフェクトの設定を変更する

新しいエフェクトを作るときは、あらかじめ記憶されているエフェクトの中からイメージに最も近いエフェクトを選び、その設定を変更 (エディット) します。変更した設定を保存するときは、ユーザー・エフェクトまたはソング・エフェクトとして保存します。

1. マスタリング・モードにします (P.81)。

MASTERING 画面が表示されます。



2. カーソル [▲] [▼] ボタンで「EFFECT」にカーソルを合わせ、マスタリング・エフェクトを選びます。

3. [ENTER] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。



4. カーソル [◀] [▶] ボタンで「EDIT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

MASTER FX 画面が表示されます。



5. カーソル [▲] [▼] ボタンでカーソルを各パラメーターに合わせ、ダイヤルでエフェクトの設定をします。

現在のエフェクトの設定を保存するときは、『マスタリング・エフェクトの設定を保存する』(P.84) の操作をします。

設定値	解説
DYNAMICS (ダイナミクス)	
-20 ~ +20	音量の大小の差を調節します。値を大きくすると音量の差が小さくなります。全体的な音量を上げるのに便利ですが、音楽の自然な強弱が失われます。 値を小さくすると音量の差が大きくなり、全体的な音量は上げにくくなりますが、オリジナルの演奏に近い自然な音量差になります。値を 0 に設定すると、マスタリング・エフェクト本来の効果となります。
TONE (トーン)	
-6 ~ +6	値を大きくすると低音域と高音域が強調され、派手な音質になります。値を小さくすると低音域と高音域がひかえめな音質になります。値を 0 に設定すると、マスタリング・エフェクト本来の効果となります。

マスタリングする

設定値	解説
NATURAL (ナチュラル)	
-50 ~ +50	値を大きくするとマスタリング・エフェクトがゆっくりかかり、自然な感じになります。音量の急なピークがそのまま再生されるため、全体的な音量は上げにくくなります。 値を小さくするとマスタリング・エフェクトが音量の急なピークに対して素早くかかるようになりますが、自然な感じが損なわれます。 値を 0 に設定すると、マスタリング・エフェクト本来の効果となります。

マスタリング・エフェクトの設定を保存する

作成したエフェクトに名前（パッチ・ネーム）をつけ、新たなエフェクトとして保存します。

1. MASTERING 画面で、[ENTER] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。



2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「WRITE/NAME」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

Name 画面が表示されます。



3. カーソル [◀] [▶] ボタンとダイヤルで、パッチ・ネームを入力します。

4. パッチ・ネームの入力を終えたら、[ENTER] ボタンを押します。

WRITE 画面が表示されます。



5. カーソル [◀] [▶] ボタンとダイヤルで、書き込み先のマスタリング・エフェクトを選びます。

U*: ユーザー・パッチ

S*: ソング・パッチ

6. マスタリング・エフェクトの書き込み先が決まったら、[ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

7. 設定を保存するときは [ENTER] ボタンを、中止するときは [EXIT] ボタンを押します。

書き込みが終わると、MASTERING 画面に戻ります。

ソングを整理する (SONG)

BR-80 では、「ソング」という単位で曲を管理しています。

1. [MENU] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。



2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SONG」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。



3. カーソル [◀] [▶] ボタンで項目を選び、[ENTER] ボタンを押します。

項目	ページ
ソングを選ぶ (SELECT)	P.57
新しいソングを作る (NEW)	P.57
ソングの状態を表示する (INFO)	P.85
ソングを消去する (ERASE)	P.87
ソングをコピーする (COPY)	P.87
SD カード容量を節約する (OPTIMIZE)	P.88

ソングを設定する (SONG INFO)

ソングの情報を見たり、設定したりします。



項目	解説
NAME	ソング名を編集します。NAME にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、ソング名の編集画面 (P.86) に切り替わります。
SIZE (表示のみ)	ソングの容量 (ファイル・サイズ) を表示します。
MASTER LEVEL	曲全体の音量を調節します。
PROTECT	ソングの保護のオン/オフを設定します。
KEY	ソングのキーを設定します。エフェクトに VOCAL MULTI を選んだ場合で、PITCH CORRECT または HARMONY の KEY が SONG に設定されていると、ここで設定した値が使われます。ボーカル用エフェクトのプリセット・パッチの KEY は SONG に設定されています。

ソングを整理する (SONG)

ソングに名前をつける (SONG NAME)

新しくソングを作ると、「SONG0001」のように名前が自動的につけられます。ソングが完成したら、名前（ソング・ネーム）をつけると管理しやすくなります。

1. 「SONG INFO」画面を表示します (P.85)。

2. カーソル [▲] [▼] ボタンで、「NAME」を選び、「ENTER」ボタンを押します。

SONG NAME 画面が表示されます。



3. カーソル [◀] [▶] ボタンで、変更したい文字にカーソルを合わせます。

4. ダイアルを回して、文字を選びます。

カーソル [▲] ボタンを押すと、選択している場所に 1 文字挿入します。

カーソル [▼] ボタンを押すと、選択している文字を消去します。

5. 「ENTER」ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

6. 「ENTER」ボタンを押します。

名前の変更が実行されます。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

ソングの保護をする (SONG PROTECT)

ソングのデータを書き替えないように保護しておくことができます（ソング・プロテクト）。ソング・プロテクトをかけると、以下の操作ができなくなります。

- ・ 録音
- ・ トラックのエディット
- ・ ソング・ネームの変更
- ・ MASTER LEVEL の変更
- ・ KEY の変更
- ・ 曲の消去
- ・ リズムのエディット
- ・ エフェクトのソング・パッチへのライト操作
- ・ ソング・オプティマイズ

1. 「SONG INFO」画面を表示します (P.85)。

2. カーソル [▲] [▼] ボタンで、「PROTECT」を選びます。

3. ダイアルで「ON」を選びます。

ソングを消去する (SONG ERASE)

保存されているソングを消去します。



ご注意!

ソング・イレースで消去したソング・データは、元に戻すことができません。

1. ダイヤルで消去したい曲を選びます。
2. 消去する場合は、[ENTER] ボタンを押します。
「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。
中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。
3. [ENTER] ボタンを押します。

消去が実行されます。

- ※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。
このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

メモ

現在使用しているソングを消去した場合、SD カードの中のソングが自動的に選ばれます。

ソングをコピーする (SONG COPY)

現在選ばれているソングをコピーします。



1. コピーする場合は、[ENTER] ボタンを押します。
「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。
中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

2. [ENTER] ボタンを押します。

コピーが実行されます。

- ※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。
このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

メモ

コピーする前に「Card full!!」メッセージが表示された場合、SD カードの空き容量が不足しています。SD カードの不要なデータを削除してください。

SD カード容量を節約する (SONG OPTIMIZE)

トラック・エディットやパンチ・イン／アウトを行った場合、SD カードには書き替える前のデータが消えないで残っています。その結果、見かけ上の録音できる時間が短くなってしまいます。

ソング・オプティマイズをすることで、不要なデータを SD カードから消去し、SD カードの空き容量を増やすことができます。



1. ソング・オプティマイズする場合は、 [ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

2. [ENTER] ボタンを押します。

ソング・オプティマイズが実行されます。ソング・オプティマイズで消去されるのは、どの V トラックにも使われていないオーディオ・データです。

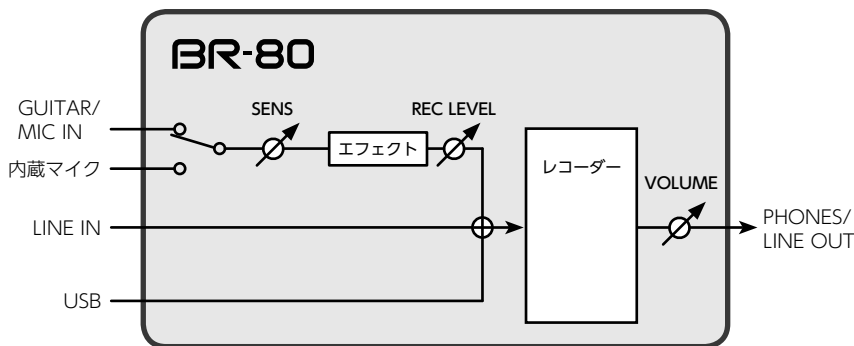
※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

※ 状況によっては、オプティマイズが終わるまでにある程度の時間がかかります。これは故障ではありません。オプティマイズが終わるまで電源を切らないでください。

※ ソング・オプティマイズを実行すると、アンドゥ、リドゥができなくなります。

完成した曲をバックに 練習する (eBand モード)

eBand モード時のオーディオ信号の流れ



- GUITAR/MIC IN 端子に接続すると、内蔵マイクはオフになります。
- 内蔵マイクを使うときは、GUITAR/MIC IN 端子に何も接続しないでください。
- LINE IN 端子と USB 端子からの信号は、GUITAR/MIC IN 端子または内蔵マイクからの入力とミックスされてからレコーダーに入ります。音量バランスは接続した機器側で調節してください。
- LINE IN 端子、USB 端子に接続した機器の音だけを録音する場合は、[REC LEVEL] ダイアルを最小にしてください。

eBand モードでの操作の流れ

eBand モードは、ギター演奏とバックの曲を合わせて録音できます。
曲の再生スピードや演奏ピッチを変更したり、センター・キャンセル機能を使ったりして、
ギター演奏の練習ができます。



演奏の準備をする

接続する (P.40)
eBand モードに切り替える (P.91)
ソングを選ぶ (P.94)



演奏する

再生する (P.92)



エフェクトをかけて演奏する

エフェクトを選ぶ (P.97)
エフェクトの詳細設定をする (P.110)



練習する

ソングの速さやピッチを変える (P.95)
センター・キャンセルする (P.96)



演奏を録音する

録音する (P.93)

※ 録音した曲は、eBand モードで再生できます。

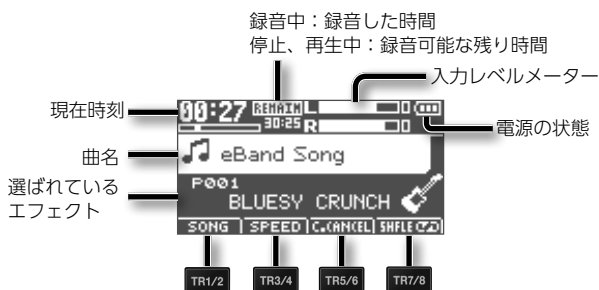
再生する／録音する

eBand モードに切り替える

1. [⏻] ボタンを何度か押して eBand インジケーターを点灯させます。



eBand モードになり、基本画面が表示されます。

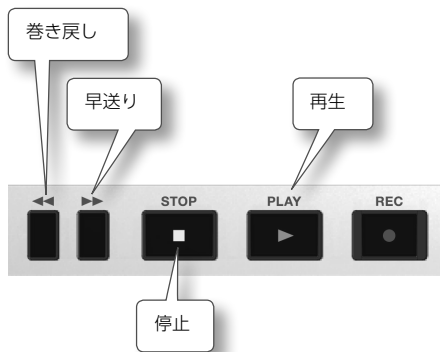


トラック・ボタンは、画面下に表示されている機能のボタンとしてはたります。

電源の状態

表示	解説
	AC アダプターから電源が供給されています。
	パソコンから電源が供給されています。
	電池残量は十分です。
	電池残量が減少しています。
	電池残量が少なくなっています。早めに新しい電池と交換してください。
	電池残量がありません。新しい電池と交換してください。

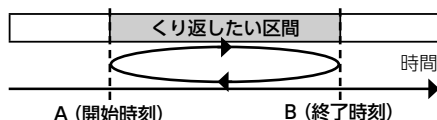
再生する



1. GUITAR/MIC IN 端子に録音する機器を接続します (P.40)。
2. [TR1/2] (SONG) ボタンを押して、SONG LIST 画面からソングを選びます (P.94)。
3. [▶] (PLAY) ボタンを押してソングを再生します。
4. [VOLUME] ダイアルで音量を調節します。
5. [■] (STOP) ボタンを押して再生を終了します。

くり返し再生させる (AB リピート)

ギター・ソロなど、曲の一部分だけをくり返し再生して練習したいときに使います。



1. [▶] (PLAY) ボタンを押します。
ソングが再生されます。
2. リピートを開始したい時刻 (A) で [A ◀▶ B] ボタンを押します。
3. リピートを終了したい時刻 (B) でもう一度 [A ◀▶ B] ボタンを押します。

AB リピートがオンになり、くり返しが始まります。



AB リピート	解説
A ◀	AB リピートの時刻 A が登録された状態です。
A ◀▶ B	時刻 A と B の間をくり返し再生します (AB リピート)。

メモ

- AB リピートを終了するには、もう一度 [A ◀▶ B] ボタンを押します。
- AB リピートの開始時刻と終了時刻を微調整することができます。詳しくは、『くり返し区間を微調整する (AB EDIT)』 (P.100) をご覧ください。

録音する

eBand モードで演奏している音をそのまま別の eBand ソングとして録音できます。

GUITAR/MIC IN 端子を使って録音する

1. GUITAR/MIC IN 端子に録音する機器を接続します (P.40)。
2. [REC LEVEL] ダイアルで、録音レベルを調節します。

録音する音の大きさを調節します。



3. [●] (REC) ボタンを押します。
録音が始まります。
4. [▶] (PLAY) ボタンを押してソングを再生します。
ソングに合わせて演奏します。
5. [■] (STOP) ボタンを押します。
録音が停止します。

メモ

- ・ソング名は、「[SONG0001]」のように自動的に作成されます。0001の部分は存在するソング名の中で、最も大きい番号の次の番号がつけられます。
- ・録音されたソングは、ソング・リストのUSERに分類されます。

内蔵マイクを使って録音する

内蔵マイクを使うときは、GUITAR/MIC IN 端子に機器を接続しないでください。

ご注意!

モニター・スピーカーで音を聞きながら録音する場合は、ハウリングを起こさないようにスピーカーとマイクの向きや距離に気をつけてください。

1. [●] (REC) ボタンを押します。
録音待機状態になります。
2. [REC LEVEL] ダイアルで、録音レベルを調節します。
録音する音の大きさを調節します。



3. もう一度 [●] (REC) ボタンを押します。
録音が始まります。
4. [▶] (PLAY) ボタンを押してソングを再生します。
ソングに合わせて演奏します。
5. [■] (STOP) ボタンを押します。
録音が停止します。

演奏する

再生しているソングにあわせて、ギターやマイクをつないで演奏できます。
ソングの速さを変えたり、センター・キャンセルをして、練習することができます。

ソングを選ぶ (SONG)

再生したい曲 (ソング) やリズムを選びます。

1. [TR1/2] (SONG) ボタンを押します。

SONG LIST 画面が表示されます。



2. ダイヤルでサーチ (絞り込み) の種類を選び [ENTER] ボタンを押します。

サーチの種類	解説
ALL SONGS	BR-80 で録音したソングと、アルバム名とアーティスト名が設定されたソングを表示します。
USER	BR-80 で録音したソングを表示します。
BEST 30	お気に入りのソングに順位 (1 ~ 30) をあらかじめつけておくと、これら 30 曲のみを表示します (P.100)。

サーチの種類	解説
ALBUM / ARTIST	アルバム名 (ALBUM)、またはアーティスト名 (ARTIST) の順に表示します。 ※ アルバム名、アーティスト名がそれぞれのソングに登録されている場合に有効です。付属の eBand Song List Editor (P.107) を使えば、コンピュータからアルバム名やアーティスト名の登録・編集ができます。
RHYTHM	工場出荷時に付属のカードに同梱されたリズムを表示します。 ※ 付属の eBand Song List Editor (P.107) を使えば、コンピュータから好きなオーディオ・ファイルをリズムとして追加することができます。
MASTERING	MTR モードでマスタリングしてできたファイルを表示します。
LIVE REC	LIVE REC モードで録音したファイルを表示します。
PREVIOUS SONG	録音する前に選んでいたソングに戻ります。

3. ダイヤルでソングを選び [ENTER] ボタンを押します。

eBand Song List Editor を使うと、パソコンを使って曲を追加したりソング情報を編集したりできます。
インストール方法は、付属 SD カード内の「ReadmeJP.txt」をご覧ください。
使いかたは、ソフトウェアに付属のヘルプをご覧ください。

メモ

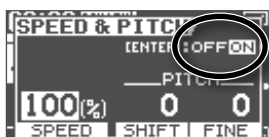
- BR-80 で扱うことのできるソング数は最大 4,000 曲です。
- アルバム名、アーティスト名は合わせて最大 2,000 項目まで登録できます。

ソングの速さやピッチを変える (SPEED)

ソングの再生速度（テンポ）や、ピッチを変更します。

1. [TR3/4] (SPEED) ボタンを押します。

SPEED 画面が表示されます。



2. [ENTER] ボタンを押して、スピードのオン／オフを切り替えます。

[ENTER] ボタンを押すたびにオン、オフが切り替わります。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定を変更します。

再生速度を変える

SPEED パラメーターは、50%（元のスピードの半分）～ 150%（元のスピードの 1.5 倍）の間で設定できます。

元のスピードに戻すときは、100%に設定します。

パラメーター	解説
SPEED	再生速度を設定します。 ピッチを変えずに、再生速度を変えることができます。

音程を変える

PITCH パラメーターで、ソングのキー（調）を変えられます。

パラメーター	解説
SHIFT	ピッチ（音程）を半音単位で上下させます。 範囲：-6 ～ +7
FINE	ピッチ（音程）を 1 セント単位で微調整します。 範囲：-50 ～ +50

※ 半音 = 100 セント

4. [EXIT] ボタンを押して、基本画面に戻ります。

センター・キャンセルする (CENTER CANCEL)

中央に定位している音を消すための設定をします。

1. [TR5/6] (CENTER CANCEL) ボタンを押します。

CENTER CANCEL 画面が表示されます。



2. [ENTER] ボタンを押して、センター・キャンセルのオン／オフを切り替えます。

[ENTER] ボタンを押すたびにオン、オフが切り替わります。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定を変更します。

パラメーター	解説
POSITION	消したい音の位置を設定します。L50：左、C0：中央、R50：右
FREQ	消したい音の帯域を設定します。
DEPTH	値を大きくするほど、効果が強くなります。

4. [EXIT] ボタンを数回押して、基本画面に戻ります。

メモ

- ・音声によっては、完全に消すことができない場合があります。
- ・再生される音はモノラルです。

再生のしかたを設定する (PLAY MODE)

ソングの再生のしかたを設定します。1 曲目から順番どおりに再生する基本的な再生や、選んでいる 1 曲だけを再生したり、ソングを順不同に再生（シャッフル再生）したりできます。

1. [TR7/8] (PLAY MODE) ボタンを押します。

プレイ・モードは、基本画面で次の図の位置で確認できます。



[TR7/8] (PLAY MODE) ボタンを押すたびにプレイ・モードが以下の表の順番で切り替わります。

プレイ・モード	解説
ONE →	1 曲だけを再生します。
ONE ⇄	1 曲だけをくり返し再生します。
LIST →	リスト順にソングを再生します。
LIST ⇄	ソングのリストをくり返して再生します。
SHFLE	ソングのリストを順不同に再生します。
SHFLE ⇄	ソングのリストを順不同にくり返して再生します。

エフェクトを使う (EFFECT)

eBand モードには、2 系統のエフェクト（インサート・エフェクト／リバーブ）が内蔵されています。

エフェクトを選ぶ

GUITAR/MIC IN 端子からの入力にかけ
るエフェクトを選びます。

1. [COSM] ボタンを押します。

エフェクト・パッチ選択画面が表示され
ます。



[COSM] ボタンを押すたびにエフェク
トのオン／オフが切り替わります。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで 「CATEGORY」にカーソルを合わ せ、ダイヤルでカテゴリーを選びま す。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで 「PATCH」にカーソルを合わせ、ダ イヤルでパッチを選びます。

※ eBand モードでは、ソング・パッチ
は使用できません。

4. [EXIT] ボタンを数回押して、基本 画面に戻ります。

メモ

エフェクトについて詳しくは、『エ
フェクトの詳細設定をする』(P.110) を
ご覧ください。

リバーブを使う

GUITAR/MIC IN 端子からの入力にかか
る残響（リバーブ）を設定します。

1. [COSM] ボタンを押します。

エフェクト・パッチ選択画面が表示され
ます。

2. [ENTER] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。



3. カーソル [◀] [▶] ボタンで 「REVERB」にカーソルを合わせ、 [ENTER] ボタンを押します。

リバーブの詳細設定画面が表示されま
す。



4. カーソル [▲] [▼] ボタンでパラ メーターを選び、ダイヤルで値を変 更します。

パラメーター	設定値
TYPE	ROOM, HALL, PLATE
TIME	0.1s ~ 10.0s
E.LEVEL	0 ~ 100

5. [EXIT] ボタンを数回押して、基本 画面に戻ります。

その他の機能

ソングを設定する (SONG INFO)

ソングの情報を見たり、設定したりします。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SONG」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「INFO」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SONG INFO 画面が表示されます。

SONG INFO EDIT[4] (U)	
SONG NAME	
TYPE	: MP3
LENGTH	: 10:10:10
SIZE	: 1000MB

4. カーソル [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定します。

パラメーター	解説
NAME	ソング名を編集します。 NAME にカーソルを合わせて [ENTER] ボタンを押すと、ソング名の編集画面 (P.98) に切り替わります。
TYPE (表示のみ)	ファイル形式を表示します。
LENGTH (表示のみ)	ソングの長さ (時間) を表示します。
SIZE (表示のみ)	ソングの容量 (ファイル・サイズ) を表示します。
LEVEL	ソングの音量を設定します。
PROTECT	ソングの保護のオン/オフを設定します。

パラメーター	解説
PATCH SYNC	ソングにエフェクトのパッチ・ナンバーを記憶させます。 オフに設定すると、現在のエフェクト設定のまま再生されます。
KEY	ソングのキーを設定します。 エフェクトに VOCAL MULTI を選んだ場合で、PITCH CORRECT または HARMONY の KEY が SONG に設定されていると、ここで設定した値が使われます。 ※ ボーカル用エフェクトのプリセット・パッチの KEY は SONG に設定されています。

ソングに名前をつける (SONG NAME)

録音すると、「SONG0001」のような名前が自動的につけられます。ソングが完成したら名前 (ソング・ネーム) をつけると管理しやすくなります。

※ eBand Song List Editor で編集したソングの名前は BR-80 では編集できません。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SONG」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「INFO」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SONG INFO 画面が表示されます。

- カーソル [▲] [▼] ボタンで「NAME」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

SONG NAME 画面が表示されます。



- カーソル [◀] [▶] ボタンで、変更したい文字にカーソルを合わせます。

- ダイヤルを回して、文字を選びます。

カーソル [▲] ボタンを押すと、選択している場所に 1 文字挿入します。

カーソル [▼] ボタンを押すと、選択している文字を消去します。

- [ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

- [ENTER] ボタンを押します。

名前の変更が実行されます。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

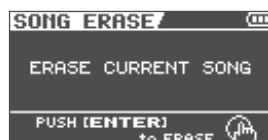
ソングを消去する (SONG ERASE)

選択中のソングを消去します。

- [MENU] ボタンを押します。

- カーソル [◀] [▶] ボタンで「SONG」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

- カーソル [◀] [▶] ボタンで「ERASE」を選び、[ENTER] ボタンを押します。



- [ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

- [ENTER] ボタンを押します。

消去が実行されます。

※ データ更新中は、ディスプレイに「Keep power on!」と表示されます。このメッセージが表示されている間は電源を切らないでください。

お気に入りの 30 曲を登録する (BEST 30 EDIT)

お気に入りのソングなどに順位をつけておくと、いつも決まったソングだけをソング・リストに表示させることができます。

1. BEST 30 に表示させたいソングを選びます (P.94)。
2. [MENU] ボタンを押します。
3. [BEST 30 EDIT] を選び [ENTER] ボタンを押します。
BEST30 EDIT 画面が表示されます。



4. ダイヤルで順位 (1 ~ 30) を選びます。

メモ

ソング・リストで BEST30 を選んだときは、ここで選んだ順位どおりに表示されます。

5. [ENTER] ボタンを押します。

くり返し区間を微調整する (AB EDIT)

AB リピートの開始時刻と終了時刻を微調整することができます。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで [AB EDIT] にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
AB EDIT 画面が表示されます。



3. カーソル [▲] [▼] ボタンとダイヤルで、開始時刻 (A)、終了時刻 (B) を調整します。
4. [EXIT] ボタンを数回押して、基本画面に戻ります。

メモ

- AB EDIT 画面では、[ENTER] ボタンを押すたびに AB リピートのオン／オフを切り替えることができます。
- MP3 データに対しては、指定した時刻からの再生ができない場合があります (指定時刻付近の演奏になります)。

※ 開始時刻 (A) と終了時刻 (B) の間隔は 1 秒未満に設定できません。

メトロノームを使う

eBand モードでは、ソングを演奏しながらメトロノームを鳴らすことができます。

1. [RHYTHM] ボタンを押します。

METRONOME 画面が表示されます。



2. [ENTER] ボタンを押して、メトロノームのオン／オフを切り替えます。

3. カーソル [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで設定します。

パラメーター	解説
BEAT	拍子を設定します。
TEMPO	テンポを設定します。
LEVEL	音量を設定します。
REC	ON：一緒に録音されます。 OFF：音は鳴りますが録音されません。

4. [EXIT] ボタンを数回押して、基本画面に戻ります。

ソングとエフェクトを同時に変える (パッチ・シンク)

ソングに記憶させたエフェクト・パッチを、ソングの切り替えと同時に呼び出すことができます。

1. [MENU] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。



2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「FUNCTION」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

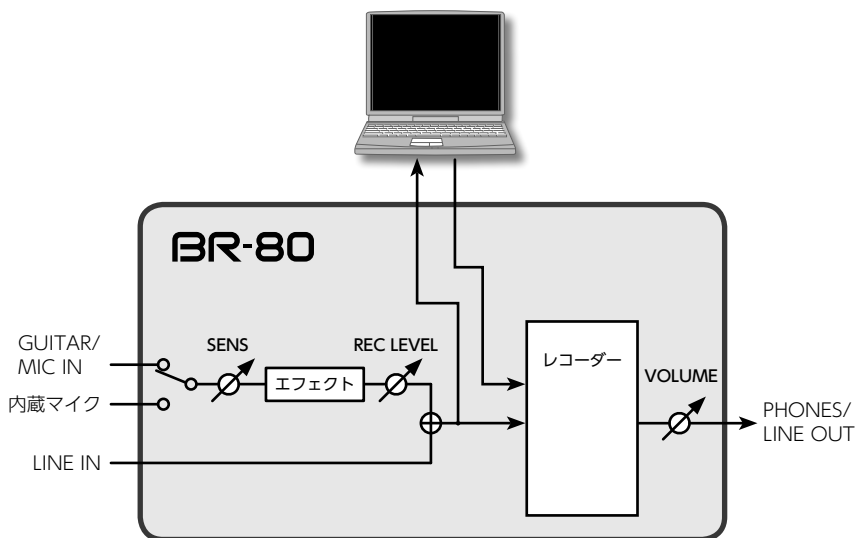
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SYSTEM」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

4. 「PATCH SYNC」を「ON」にします。

工場出荷時は「ON」に設定されています。「OFF」に設定すると、「SONG INFO」のパッチ・シンクの設定(P.98)は無視され、現在選ばれているエフェクト・パッチが有効になります。ソングを切り替えても、エフェクト・パッチは変更されません。

その他の 便利な機能

オーディオ・インターフェース時の オーディオ信号の流れ



- LIVE REC モードでは、本体に内蔵されているステレオ・マイクでのみ録音することができます。
- LIVE REC モードでは、エフェクトはかかりません。

パソコンと接続する

USB を使う前に



BR-80 は USB 端子を装備しています。パソコンと接続することによって以下の操作ができます。

- BR-80 をオーディオ・インターフェースとして使う (P.109)。
- BR-80 とパソコンでオーディオ・データのやりとりをする (P.106)。
- BR-80 のデータをパソコンにバックアップする (P.107)。
- SMF をインポートしてパターンを作る (P.72)。

メモ

USB の動作環境については、ローランドのホームページ (<http://www.roland.co.jp/>) でご確認ください。

USB ドライバーのインストール

オーディオ・インターフェースとして接続する前に、お使いのパソコンに USB ドライバーをインストールする必要があります。USB ドライバーは付属 SD カードに収録されています。

USB ドライバーの収録場所については、付属 SD カード内の「ReadmeJP.txt」をご覧ください。また、各 OS 用のドライバーが収録されているフォルダーにある「Readme.htm」をよくお読みになってからお使いください。

USB に関する機能を設定する

BR-80 の USB に関する機能について説明します。使いかたに応じて設定してください。

1. [MENU] ボタンを押します。

Menu 画面が表示されます。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「FUNCTION」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

FUNCTION 画面が表示されます。

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「USB」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

USB 画面が表示されます。



4. ダイヤルで USB モードを設定します。

USB モード	説明
AUDIO	BR-80 をオーディオ・インターフェースとして使うときに選びます。
STORAGE	eBand Song List Editor や BR Series Wave Converter を使うとき、またはパソコンとデータのやりとりをするときに選びます。

中止したいときは [EXIT] ボタンを押します。

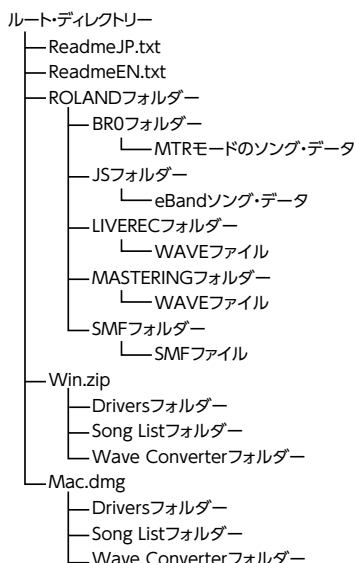
5. [ENTER] ボタンを押して、基本画面に戻ります。

設定は、再起動後に有効になります。

SD カードのデータ構成

SD カードの中に作成されるフォルダーとファイルは、以下のようになります。

※ SD カードの中に作成されるフォルダーやファイルの削除したり、名前を変えたりしないでください。



ROLAND フォルダー

BR-80 のデータが、以下のフォルダーに分類されて保存されています。

BRO フォルダー

MTR モードのソング・データが保存されるフォルダーです。

JS フォルダー

eBand ソング・データが保存されるフォルダーです。

LIVEREC フォルダー

LIVE REC モードで使用する WAV / MP3 ファイルが保存されるフォルダーです。

パソコンからこのフォルダーに WAV / MP3 ファイルを置くと BR-80 で再生することができます。

また、BR-80 で作成した WAV / MP3 ファイルを LIVEREC フォルダーからパソコンに取り出すことができます。詳しくは『パソコンと曲のやりとりをする』(P.106)をご覧ください。

MASTERING フォルダー

MTR モードでマスタリングした WAV ファイルが保存されるフォルダーです。

WAV ファイルを MASTERING フォルダーからパソコンに取り出すことができます。詳しくは『パソコンと曲のやりとりをする』(P.106)をご覧ください。

SMF フォルダー

ソング・パターンを作るための SMF (スタンダード MIDI ファイル) を置くフォルダーです (P.72)。

Win.zip

Windows 用の USB ドライバー、eBand Song List Editor、BR Series Wave Converter を収録しています。詳しくは、付属 SD カード内の「ReadmeJP.txt」をご覧ください。

Mac.dmg

Mac OS X 用の USB ドライバー、eBand Song List Editor、BR Series Wave Converter を収録しています。詳しくは、付属 SD カード内の「ReadmeJP.txt」をご覧ください。

パソコンと曲のやりとりをする

パソコンと接続する前に、USB モードを STORAGE に設定します (P.104)。

WAV / MP3 ファイルをやりとりする

1. [EXIT] ボタンを押して、基本画面に戻ります。

2. パソコンと BR-80 を USB ケーブルで接続します。

BR-80 がパソコンで正しく認識されると、IDLING 画面に変わります。
パソコンには「BR-80 eBand」アイコン (または「リムーバブルディスク (*)」アイコン) が追加されます。
IDLING 画面が表示されないときは、接続や USB モード (P.104) を確認してください。

3. パソコンの「BR-80 eBand」アイコン (または「リムーバブルディスク (*)」アイコン) をダブルクリックします。

4. 「ROLAND」フォルダーをダブルクリックします。

BR-80 が録音データを管理しているフォルダーが表示されます。

LIVE REC モードで使うファイルをやりとりする場合

「LIVEREC」フォルダーをダブルクリックして、フォルダーに保存されているオーディオ・ファイルを表示させます。
コピーしたいオーディオ・ファイルをドラッグ & ドロップします。

MTR モードでマスタリングしたファイルを取り出す場合

「MASTERING」フォルダーをダブルクリックして、フォルダーに保存されている WAV ファイルを表示させます。
コピーしたい WAV ファイルをドラッグ & ドロップします。

5. パソコンとの接続を終了します。

パソコンでの次の操作をした後、BR-80 が IDLING 画面に戻るまでお待ちください。

Windows の場合

Windows のスタート・メニューから「コンピューター」を選びます。
「BR-80 eBand」アイコン (または「リムーバブルディスク (*)」アイコン) を右クリックして「取り出し」を実行します。

Mac OS の場合

「BR-80 eBand」アイコンを取り出しアイコンにドラッグします。

6. BR-80 の電源を切ります。

ご注意!

正しい手順でパソコンとの接続を終了させないと、SD カードが破損することがあります。

7. USB ケーブルを抜きます。

続けて使用する場合には、再度電源を入れてください。

MTR モードの曲をパソコンとやりとりする

「BOSS BR Series Wave Converter」を使うと、BR-80 の MTR モードのオーディオ・データを WAV/AIFF ファイルに変換したり、パソコンの WAV/AIFF ファイルを BR-80 のオーディオ・データに変換したりすることができます。「BR Series Wave Converter」は付属 SD カードに収録されています。「BOSS BR Series Wave Converter」の収録場所については、付属 SD カード内の「ReadmeJP.txt」をご覧ください。

eBand モードの曲をパソコンとやりとりする

「eBand Song List Editor」を使うと、音楽 CD や WAV/AIFF ファイルを BR-80 の eBand モードのオーディオ・データに変換したり、MP3 ファイルを eBand のソング・リストに追加したり、BR-80 の SD カードに記録された eBand モードのソング情報の編集ができます。

「eBand Song List Editor」は付属 SD カードに収録されています。「eBand Song List Editor」の収録場所については、付属 SD カード内の「ReadmeJP.txt」をご覧ください。

データをパソコンに保存する

パソコンと接続する前に、USB モードを STORAGE に設定します (P.104)。SD カードがいっぱいになった場合や、大切なデータをパソコンに保存しておきたい場合にバックアップを取ります。SD カードの万一の破損に備えて、こまめにバックアップを取ることをお勧めします。

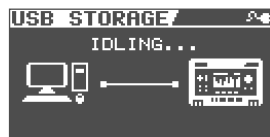
バックアップされるデータは以下のとおりです。

- ・ MTR モードの曲データ
(録音データ、ミキサーの状態、インサート・エフェクトのソング・パッチ、マスタリング・エフェクトのソング・パッチ、リズム、ループ・エフェクト)
- ・ eBand モードの曲データ
- ・ LIVE REC モードの曲データ
- ・ マスタリングした曲データ

1. [EXIT] ボタンを押して、基本画面に戻ります。

2. パソコンと BR-80 を USB ケーブルで接続します。

USB STORAGE 画面が表示されます。



パソコンには「BR-80 eBand」アイコン (または「リムーバブルディスク (*)」アイコン) が追加されます。

※ IDLING 画面が表示されないときは、以降の操作ができません。BR-80 の USB モードを STRAGE に設定してください (P.104)。

3. データのバックアップ／リカバーをします。

バックアップをする場合

「BR-80 eBand」アイコン（または「リムーバブルディスク（*:）」アイコン）をダブルクリックします。

「ROLAND」フォルダーをパソコンのフォルダーにドラッグ＆ドロップします。

バックアップが終了すると、IDLING 画面に戻ります。

リカバーをする場合

「BR-80 eBand」アイコン（または「リムーバブルディスク（*:）」アイコン）をダブルクリックします。

BR-80 内の「ROLAND」フォルダーを削除します。

パソコン上の「ROLAND」フォルダーを「BR-80 eBand」アイコン（または「リムーバブルディスク（*:）」アイコン）にドラッグ＆ドロップします。

リカバーが終了すると、IDLING 画面に戻ります。

ご注意！

- ・バックアップ／リカバーするときは、「ROLAND」フォルダーごとドラッグ＆ドロップしてください。フォルダーの一部だけをコピーすると、BR-80 で使用できなくなることがあります。
- ・リカバーの途中で上書きを確認するメッセージがパソコンに表示されることがありますが、すべて「はい」(YES) を選んでください。「いいえ」(NO) を選べるとリカバーが不完全になり、後で BR-80 の動作に異常をきたす恐れがあります。
- ・データをリカバーすると、SD カード内のデータが上書きされます。

4. パソコンとの接続を終了させます。

パソコンでの次の操作をした後、BR-80 が IDLING 画面に戻るまでお待ちください。

Windows の場合

Windows のスタート・メニューから「コンピューター」を選びます。

「BR-80 eBand」アイコン（または「リムーバブルディスク（*:）」アイコン）を右クリックして「取り出し」を実行します。

Mac OS の場合

「BR-80 eBand」アイコンを取り出しアイコンにドラッグします。

5. BR-80 の電源を切ります。

ご注意！

正しい手順でパソコンとの接続を終了させないと、SD カードが破損することがあります。

6. USB ケーブルを抜きます。

続けて使用する場合には、再度電源を入れてください。

オーディオ・インターフェースとして使う

オーディオ・インターフェースとして使うときは、BR-80 の USB モードを AUDIO に設定してください (P.104)。パソコンと接続する前に、必ず USB ドライバーのインストールをしてください (P.104)。

ご注意!

- ・ 第三者の著作物 (音楽作品、映像作品、放送、実演、その他) の一部または全部を、権利者に無断で録音、録画、複製あるいは改変し、配布、販売、貸与、上演、放送などを行うことは法律で禁じられています。
- ・ 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。

BR-80 からの入力音をパソコンで録音する

BR-80 からの入力音を USB を通じてパソコンのソフトウェアで録音することができます。

1. パソコンと BR-80 を USB ケーブルで接続します。
2. パソコンのオーディオ録音ソフトで、音声の入力を BR-80 に切り替えます。

入力元の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

パソコンで再生した曲を BR-80 で鳴らす

パソコンで再生したオーディオを、USB を通じて BR-80 に接続した出力機器から聴くことができます。

1. パソコンと BR-80 を USB ケーブルで接続します。
2. パソコンのオーディオ再生ソフトで、音声の出力先を BR-80 に切り替えます。

出力先の切り替えかたは、お使いのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

パソコンで再生した曲を BR-80 で録音する

パソコンで再生したオーディオ・データを、USB を通じて BR-80 のトラックに録音することができます。

1. パソコンと BR-80 を USB ケーブルで接続します。
2. パソコンのオーディオ再生ソフト側で、音声の出力先を BR-80 に切り替えます。
3. 『録音する』(P.58) の手順に従って録音します。

※ USB 端子に接続した機器の音だけを録音する場合は、[REC LEVEL] ダイアルを最小にしてください。

エフェクトの詳細設定をする

エフェクトの設定を変更する (EDIT)

新しいエフェクト音を作るときは、あらかじめ記憶されているエフェクト・パッチの中からイメージに最も近いパッチを選び、その設定を変更します。

1. [COSM] ボタンを押します。

エフェクト・パッチ選択画面が表示されます。



2. エフェクト・パッチを選びます (P.68)。

3. [ENTER] ボタンを押します。

4. カーソル [◀] [▶] ボタンで「EDIT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

EDIT 画面が表示されます。



5. カーソル [◀] [▶] ボタンでカーソルを各エフェクトに合わせ、ダイヤルでエフェクトのオン/オフを変更します。

表示	解説
	エフェクト・オン (選択中)
	エフェクト・オン
	エフェクト・オフ (選択中)
	エフェクト・オフ

6. カーソル [◀] [▶] ボタンでパラメーターを変更するエフェクトにカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

各エフェクトのパラメーター設定画面が表示されます。

エフェクトのパラメーターの詳細については付属 SD カードに収録されている「BR-80_Data_List_j.pdf」をご覧ください。

「BR-80_Data_List_j.pdf」の収録場所については、付属 SD カード内の「ReadmeJP.txt」をご覧ください。



7. カーソル [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで値を変更します。

他のエフェクトを変更するときには、[EXIT] ボタンを押してひとつ前の画面に戻り、手順 5～6 をくり返します。

8. [EXIT] ボタンを数回押して、基本画面に戻ります。

ご注意！

保存する前に別のエフェクト・パッチに切り替えると、エディットした内容は失われます。

エフェクトを保存する (WRITE/NAME)

変更したエフェクトの設定に名前（パッチ・ネーム）をつけて、新たなエフェクト・パッチとして保存します。

1. [COSM] ボタンを押します。

エフェクト・パッチ選択画面が表示されます。



2. エフェクト・パッチを選びます (P.68)。

3. [ENTER] ボタンを押します。

4. カーソル [◀] [▶] ボタンで「WRITE/NAME」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

WRITE/NAME 画面が表示されます。



5. カーソル [◀] [▶] ボタンで、変更したい文字にカーソルを合わせます。

6. ダイヤルを回して、文字を選びます。

カーソル [▲] ボタンを押すと、選択している場所に 1 文字挿入します。
カーソル [▼] ボタンを押すと、選択している文字を消去します。

7. パッチ・ネームの入力が終わったら、[ENTER] ボタンを押します。

WRITE 画面が表示されます。



8. カーソル [◀] [▶] ボタンとダイヤルで、保存先を選びます。

U** : ユーザー・パッチ

S** : ソング・パッチ

※ eBand モードでは、ソング・パッチは使用できません。

9. [ENTER] ボタンを押します。

COSM (Composite Object Sound Modeling) とは

実在する物体の構造、素材などを別の手段で仮想的に再構築する技術をモデリング技術と呼びます。COSM はその数あるサウンド・モデリング技術を組み合わせて、さらに新しいサウンドを創り出すボスノローランド独自の技術です。

アルゴリズム一覧

インサート・エフェクトはカテゴリー、パッチごとに使用できるエフェクトや接続順（アルゴリズム）が異なります。BR-80 のアルゴリズムは、使用用途に合わせて以下のものを用意しています。

※ アルゴリズムの接続線は、そのエフェクトがモノ（単線）かステレオ（二重線）かを示しています。

（例）モノ出力

ステレオ出力

-[COMP/LM]-[WAH]-

-[MOD]=[DLY]=

エレキ・ギター／ エレキ・ベース用

1. E.GUITAR MULTI

エレキ・ギター用マルチ・エフェクトです。

プリアンプとスピーカー・シミュレーターを使用したアンプ・サウンドが得られます。

-[COMP/LM]-[DIST]-[AMP]-[EQ]-
-[NS]-[MOD]=[DLY]=

Compressor/Limiter
Distortion
Amp
Equalizer
Noise Suppressor
Modulation
- Octave
- Phaser
- Flanger
- Tremolo
- Rotary
- Uni-v
- Pan
- Chorus
Delay

2. ACOUSTIC SIM

エレキ・ギター用マルチ・エフェクトです。

エレキ・ギターでアコースティック・ギターのサウンドが得られます。

-[ASIM]-[COMP/LM]-[EQ]-[NS]-
-[CHO]=[DLY]=

Acoustic Simulator
Compressor/Limiter
Equalizer
Noise Suppressor
Chorus
Delay

3. GUITAR TO BASS

ベース・ギターの音をシミュレートします。
エレキ・ギターを弾きながらベース・ギターのサウンドが得られます。
※ GUITAR TO BASS を使うときは単音で使用してください。

-[G->B]-[COMP/LM]-[DIST]-[AMP]]
[EQ]-[NS]-[MOD]=[DLY]=

Guitar to Bass
Compressor/Limiter
Distortion
Amp
Equalizer
Noise Suppressor
Modulation
- Octave
- Phaser
- Flanger
- Tremolo
- Pan
- Chorus
Delay

マイク用

4. VOCAL MULTI

ボーカル用マルチ・エフェクトです。
ボーカルに特化したエフェクトをそろえています。

-[PCR]-[DYN]-[EQ]-[NS]]
[DB/HR]=[DLY]=

Pitch Correct
Dynamics
Equalizer
Noise Suppressor
Double/Harmony
Delay

5. STEREO MULTI

内蔵マイク専用のエフェクトです。
完全ステレオ仕様の 6 種類のエフェクトを直列に接続したアルゴリズムです。

=[COMP/LM]=[EQ]=[NS]=[MOD]]
[CHO]=[DLY]=

Compressor/Limiter
Equalizer
Noise Suppressor
Modulation
- Phaser
- Flanger
- Tremolo
- Rotary
- Pan
Chorus
Delay

アコースティック・ギター用

6. A.GUITAR MULTI

アコースティック・ギター用マルチ・エフェクトです。
エレアコ（エレクトリック・アコースティック・ギター）をラインで接続しても、マイク録りをしたような暖かみのあるサウンドを得ることができます。

-[ACP]-[COMP/LM]-[EQ]-[NS]]
[CHO]=[DLY]=

Acoustic Processor
Compressor/Limiter
Equalizer
Noise Suppressor
Chorus
Delay

全体の設定をする

入力感を調節する (INPUT SENS)

GUITAR/MIC IN 端子／内蔵マイクの入力感を調節します。

※ LIVE REC モードのときは、この設定はありません。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「INPUT SENS」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. ダイヤルで値を変更します。
4. [EXIT] ボタンを数回押して、各モードの画面に戻ります。

システム設定をする (SYSTEM)

BR-80 のシステム設定を変更します。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「FUNCTION」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SYSTEM」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

SYSTEM	
LCD CONTRAST :	10
LCD BACKLIGHT :	1
POWER SAVE :	OFF
AUTO POWER OFF :	OFF
REMAIN INFO :	OFF

4. カーソル [▲] [▼] ボタンでパラメーターを選び、ダイヤルで値を変更します。

パラメーター	解説
LCD CONTRAST	LCD 画面のコントラストを調節します。
LCD BACKLIGHT	LCD 画面のバックライトの明るさを調節します。
POWER SAVE	バックライトが暗くなるまでの時間を設定します。
AUTO POWER OFF	自動で電源が切れるまでの時間を設定します (P.42)。
REMAIN INFO (MTR モードのみ)	ON にすると、現在時刻の表示が録音可能な残り時間に切り替わります。 OFF にすると、現在時刻の表示に戻ります。
PATCH SYNC	パッチ・シンク機能のオン／オフを設定します (P.98)。
BATTERY	使用する電池の種類を設定します。

5. [EXIT] ボタンを数回押して、各モードの画面に戻ります。

SD カードの使用状況を表示する (SD INFO)

SD カードの使用状況を確認することができます。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「FUNCTION」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SD INFO」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

パラメーター	解説
TOTAL SIZE	SD カードの容量
REMAIN SIZE	SD カードの残り容量

4. [EXIT] ボタンを数回押して、各モードの画面に戻ります。

SD カードを初期化する (FORMAT)

ご注意！

- ・フォーマットするとカードの内容はすべて失われます。必要なデータは事前にバックアップをしてください (P.107)。
- ・市販の SD カードを使う場合は、BR-80 でフォーマットする必要があります。
- ・SD カードの抜き差しは、必ず本体の電源を切った状態でしてください。電源を入れたまま SD カードを抜くと、データが壊れたり、SD カードが破損したりします。
- ・SD カードの容量によっては、フォーマットに数分程度の時間がかかります。これは故障ではありません。フォーマットが終わるまで電源を切らないでください。
- ・「Keep power on!」と表示されているときは、絶対に SD カードを抜いたり、電源を切ったりしないでください。SD カードのデータが壊れたり、SD カードが破損したりします。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「FUNCTION」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

全体の設定をする

3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SD FORMAT」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

4. もう一度 [ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

5. フォーマットするときは「YES」を選んで [ENTER] ボタンを、中止するときは「NO」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

「YES」を選んで [ENTER] ボタンを押すと、フォーマットが実行され、各モードの画面に戻ります。

本体を初期化する (FACTORY RESET)

1. [MENU] ボタンを押します。

2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「FUNCTION」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

3. カーソル [▲] [▼] ボタンで「F.RESET」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。

4. もう一度 [ENTER] ボタンを押します。

「Are you sure?」という、確認のメッセージが表示されます。

5. ファクトリー・リセットするときは「YES」を選んで [ENTER] ボタンを、中止するときは「NO」を選んで [ENTER] ボタンを押します。

「YES」を選んで [ENTER] ボタンを押すと、ファクトリー・リセットが実行されます。

ご注意！

ファクトリー・リセットを実行した後は、BR-80 の電源を入れ直してください。

オート・パワー・オフ機能を設定する

BR-80 には、自動的に電源を切る機能があります。操作をやめてから 30 分経過すると、自動的に電源が切れます。この機能は、工場出荷時には 30 分に設定されています。時間の変更や「OFF」に設定したいときは、以下の手順で設定を変更します。

ご注意！

電源が切れると編集中のエフェクト設定は失われます。残しておきたい設定はあらかじめ保存しておいてください。

1. [MENU] ボタンを押します。
2. カーソル [◀] [▶] ボタンで「FUNCTION」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
3. カーソル [◀] [▶] ボタンで「SYSTEM」にカーソルを合わせ、[ENTER] ボタンを押します。
4. カーソル [▲] [▼] ボタンで AUTO POWER OFF を選び、ダイヤルで値を変更します。

設定値	説明
3MIN 5MIN 10MIN 15MIN 30MIN 45MIN 60MIN	操作をやめてから自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。
OFF	自動で電源が切れません。

楽器をチューニングする

BR-80 は「クロマチック・チューナー機能」を内蔵しており、簡単にチューニングできます。内蔵チューナーは、ギターまたはベース・ギターに対応しています。ここでは、ギターのチューニングについて説明します。各モードでチューニングできる入力異なります。

入力	LIVE REC モード	MTR モード	eBand モード
GUITAR/ MIC IN	×	○	○
内蔵マイク	○	○	○
LINE IN	×	×	×
USB	×	×	×

※ チューナー使用時には、再生や録音
ができません。

チューナーに切り替える

1. [RHYTHM] ボタンを押しながら
[COSM] ボタンを押します。

TUNER 画面が表示されます。

チューニング・ガイド



チューニング・ガイドは、入力音と表示音のズレを表示します。正確な音の高さからのズレが ± 50 セント以内の場合は、チューニング・ガイドにズレの大きさが表示されます。

2. チューナーをオフにするときは、
[EXIT] ボタンを押します。

メモ

チューニング中の音を出力したくない場合は、[VOLUME] つまみを下げてください。

チューニングする

1. チューニングする弦を開放の単音で弾きます。

弾いた弦のピッチに近い音名がディスプレイに表示されます。

※ チューニングする弦だけを単音で正確に弾いてください。

2. チューニングしている弦の音名がディスプレイに表示されるようにチューニングします。

一般的なチューニング

	7 弦	6 弦	5 弦	4 弦	3 弦	2 弦	1 弦
ギター	B	E	A	D	G	B	E
ベース	-	-	B	E	A	D	G

3. チューニング・ガイドを見ながら、合わせたいピッチ名と両方の三角マークが表示されるように、チューニングします。

正確な音の高さからのズレが ± 50 セント以内の場合は、チューニング・ガイドで表示音とのズレを確認することができます。

表示音より低いとき



表示音と同じとき



表示音より高いとき



4. 1～3の手順をくり返して、すべての弦をチューニングします。

メモ

アームのついたギターをチューニングする場合は、一本の弦を合わせると他の弦がズレることがあります。最初は音名が表示される程度に合わせ、その後、各弦を何度かチューニングし直すようにしてください。

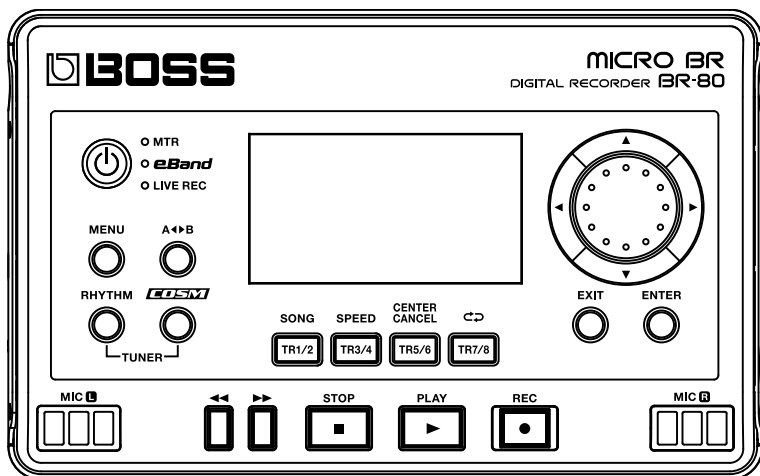
基準ピッチを設定する

演奏時に音の高さの基準になる楽器のA4（ピアノ鍵盤中央のラの音）の周波数を基準ピッチといいます。チューナーの基準ピッチを435～445Hzの間で設定することができます。チューナー画面でダイヤルを回すと設定できます。工場出荷時は、440Hzに設定されています。

メモ

基準ピッチは本体に保存されます。

資料編



故障かな?と思ったら

トラブルを解決するためのヒントが書かれています。

また、ホームページでは最新情報が公開されています。あわせてご覧ください。

<http://www.roland.co.jp/>

それでも解決しない場合には、ローランドお客様相談センターへお問い合わせください。

電源に関するトラブル

項目	説明	ページ
電源が入らない	対応した AC アダプターを使っていますか？ BR-80 で使える AC アダプターは PSA-100 のみです。	-
	パソコンや USB ハブの電源供給に余裕がありますか？ BR-80 への電源供給が不足すると接続できません。次のケースに該当していないか確認してください。 ・バッテリーで動作しているノート・パソコンでお使いの場合、パソコンによっては動作が不安定になることがあります。その場合は、パソコンに AC アダプターを接続してお使いください。 ・パソコンの省電力モードによっては、USB に対する電力供給を制限する場合があります。パソコンの設定条件を見直してください。 ・バス電源ハブ（電源を内蔵しないハブ）では、BR-80 を使用できない場合があります。自己電源ハブ（電源を内蔵しているハブ）をお使いください。	-

音に関するトラブル

項目	説明	ページ
音が出ない	BR-80、接続機器の電源は入っていますか？	P.41
	オーディオ・ケーブルは正しく接続されていますか？	P.40
	オーディオ・ケーブルが断線していませんか？	-
	接続しているアンプやミキサーのボリュームが下がっていませんか？	-
	[VOLUME] ダイアルが下がっていませんか？	-
	SD カードは挿入されていますか？	P.39
	BR-80 で対応していない SD カードが差し込まれていませんか？ 付属の SD カード以外を使う場合は、ローランド・ホームページ (http://www.roland.co.jp/) をご覧ください。最新の動作確認情報をご案内しています。	-
	MTR モードで 1 秒以内の短いフレーズを再生しようとしていませんか？ MTR モードで 1 秒以内のフレーズは再生できません。	-
WAV/MP3 ファイルが再生できない	対応していないフォーマットのファイルを再生しようとしていませんか？	P.128

項目	説明	ページ
LINE IN 端子、 GUITAR/MIC IN 端子に接続した機器の 音量が小さい。	抵抗入りの接続ケーブルを使用していませんか？ 抵抗の入っていない接続ケーブルをご使用ください。	-
	外部機器の音量を正しく調節していますか？	-
MTR モードの特定の トラックから音が出ない	トラックの音量レベルが下がっていませんか？	P.63
	V トラックの設定が、違う V トラックになっていませんか？	P.65
	トラックがミュートされていませんか？	P.64
	ソロに設定している他のトラックがありませんか？	P.64
入力した音が出ない	[REC LEVEL] ダイヤルの調節をしましたか？	P.36
	INPUT SENS の調節をしましたか？	P.114
	[GUITAR/MIC] 切り替えスイッチが正しく設定されていますか？	P.37
録音できない	曲がプロテクトされていませんか？	P.86
	SD カードは挿入されていますか？	P.39
	SD カードの容量が不足していませんか？	P.115
	SD カードにロックがかかっていますか？	P.39
MTR モードでリバーブ 効果をかけたくない	ループ・エフェクトのリバーブのセンド・レベルが上がっていませんか？ BR-80 にはループ・エフェクトとしてリバーブが搭載されています。 初期設定では、リバーブがかかるようになっていきます。リバーブの効果を なくしたい場合は、各トラックのセンド・レベルをすべて 0 に設定してく ださい。	P.65
録音した音に雑音や 歪みが多い	入力感度は適切ですか？ 入力感度が高すぎると録音される音が歪み、逆に感度が低すぎると雑音に 埋もれてしまいます。大きな音を出したときに、PEAK インジケーターが 点灯しないように調節してください。	P.114 P.36
	トラックの出力レベルは適切ですか？ マスタリングの後で雑音や歪みがあるときは、トラックの出力レベルが大 きすぎます。	-
	BR-80 に出力インピーダンスの高いマイクを直接つないでいませんか？ GUITAR/MIC IN 端子 (MIC 選択時) は低い入力インピーダンスのため、 マイク特性によっては録音レベルが低めになることがあります。このよ うな場合は、市販のマイク・プリアンプを通してから録音してください。	-
LIVE REC モードで [REC LEVEL] ダイ ヤルを回すとノイズ が入る	LIVE REC モードで [REC LEVEL] ダイヤルを操作すると、小さなノイズ が聞こえることがありますが、故障ではありません。	-

故障かな?と思ったら

SD カードのトラブル

項目	説明	ページ
SD カードのデータが壊れた	SD カードのデータが壊れたときは、以下のような原因が考えられます。 SD カードをフォーマットしてください。 ・ 録音または再生中に電源を切ったりしていませんか？ ・ SD カードに強い衝撃を与えたりしていませんか？ ・ SD カードにアクセスしているときに BR-80 の電源を切ったりしていませんか？ ・ パソコンやデジタル・カメラなどでフォーマットした SD カードを使っていませんか？	P.115
SD カードがフォーマットできない	SD カードが書き込み禁止になっていませんか？ BR-80 で対応していない SD カードが差し込まれていませんか？ 付属の SD カード以外を使う場合は、ローランド・ホームページ (http://www.roland.co.jp/) をご覧ください。最新の動作確認情報をご案内しています。	P.39 -

USB のトラブル

項目	説明	ページ
IDLING 画面が表示されない	USB ケーブルは正しく接続されていますか？	P.40
	パソコンの OS は BR-80 に対応していますか？ USB の動作環境については、ローランドのホームページ (http://www.roland.co.jp/) でご確認ください。	-
	お使いのパソコンは USB2.0 に対応していますか？ BR-80 は USB1.1 以前では動作しません。 USB2.0 に対応したパソコンでお使いください。	-
USB から入力した音が出ない	USB モードがストレージになっていませんか？	P.104
	USB ドライバーが正しくインストールされていますか？	P.104

エラー・メッセージ一覧

操作を誤ったり、正しく実行できなかつたりしたときは、ディスプレイにエラー・メッセージが表示されます。

表示のメッセージに従って対処してください。

メッセージ	原因	対処	ページ
Already exists!	同じ名前のファイルがあります。	別の名前でファイルを作成してください。	-
Battery low!	動作用の電池が消耗しています。	早めに電池を交換してください。	P.38
Cannot change file name!	ファイル名に、BR-80 で扱えない文字が含まれています。 8 文字以上のファイル名がつけられています。	お使いのパソコンで、BR-80 が扱えるファイル名に変更してください。	P.106
Cannot edit song name!	ソング・リスト・エディターで編集されたソング名は、BR-80 本体で編集はできません。	ソング・リスト・エディターを使って編集をしてください。	-
Cannot delete!	パターンが 1 つだけのリズムで、パターンを消去しようとしてしました。	パターンを 2 つ以上入力してから消去してください。	P.70
Cannot Edit!	テンポが途中で変わるリズムのテンポを、レベル・メーター画面で変更しようとしてしました。	リズムのエディットでテンポを変更してください。	P.69
Cannot insert!	リズムの小節数が 999 を超えました。	リズムは 999 小節以内になるように作成してください。	P.69
Card full!	SD カードの残量が少ないので、録音やコピーができません。	必要なデータはパソコンにバックアップし、SD カードから不要なデータを削除してください。 不要なトラックを消去して、MTR モードの曲の最適化をしてください。	P.107 P.76,P.88
Card locked!	SD カードの LOCK がオンになっているため、書き込みや消去ができません。	電源を切り、SD カードを抜いて LOCK をオフにしてください。	P.39
Card read error!	SD カードのデータを正しく読み込むことができません。	電源を切り、SD カードを確実に差し込んで、再度電源を投入してください。 上記の対処をしても同じメッセージが表示されるときは、SD カードが壊れている可能性があります。 SD カードをフォーマットしてください。 上記の対処をしても同じメッセージが表示されるときは、SD カードが壊れている可能性があります。	P.39 P.115

エラー・メッセージ一覧

メッセージ	原因	対処	ページ
Card write error!	SD カードへのデータの書き込み中にエラーが発生しました。	SD カードをフォーマットしてください。保存しようとしていた曲のデータは失われます。上記の対処をしても同じメッセージが表示される場合は、SD カードが壊れている可能性があります。	P.115
Data too long!	ソングが長すぎる（ファイルサイズが大きすぎる）ため再生できません。	お使いのパソコンでファイルを分割するなど、サイズを小さくしてください。	-
Data too short!	1 秒以下の WAV ファイル、MP3 ファイルはインポートできません。	インポートでは 1 秒より長い WAV ファイル、MP3 ファイルを用意してください。	-
Drive busy!	SD カードのデータが分散して記録されているために、データの読み出しや書き込みが遅くなっています。または、処理速度の遅い SD カードが使われています。パンチ・イン／アウト・レコーディングなどで、数秒のフリーズ（録音データ）をつなぎ合わせた場合に起こりやすくなります。	同時に再生するトラック数を少なくしてください。パウンスでトラックをまとめて、再生しないトラックを消去してから、再生してください。	P.80
		同時録音数を少なくしてください。	-
Event full!	MTR モードのとき、1 曲で使うことのできるイベントをすべて消費しました。	不要なトラックを消去して、MTR モードの曲の最適化をしてください。	P.76,P.88
	イベントとは？ SD カードへ録音結果を記録しておくために、BR-80 が扱うメモリーの最小単位をイベントと呼びます。新しく作成された曲には、1 曲あたり約 30,000 個のイベントが用意されています。1 トラックあたり、1 回の録音には 2 つのイベントが消費されます。また、パンチ・イン／アウトやトラック・コピーなどでもイベントは消費されます。消費されるイベントは状況に応じて複雑に変化します。たとえ SD カードの実容量に余裕があっても、イベントをすべて消費してしまったときは、それ以上の録音やトラック編集を行うことはできません。このようなときは、「Event full!」とエラー・メッセージが表示されます。		
No card!	SD カードが差し込まれていない、または差し込みが不完全な状態でレコーダーや SD カードが操作されました。	電源を切り、SD カードを確実に差し込んで、再度電源を入れてください。	P.39
	SD カードのデータを選んだ後で、SD カードが抜かれました。		
No file!	WAV ファイル、MP3 ファイル、SMF ファイルをインポートするときに、ファイルが存在しません。	取り込みたいファイルを用意してください。	-

エラー・メッセージ一覧

メッセージ	原因	対処	ページ
No song!	SD カードに曲がありません。	新しい曲を作成してください。	P.57
	ソング・フォルダーの中に間違ったデータが入っている、または必要なデータがない状態です。	パソコンにバックアップされているデータを、もう一度 BR-80 に戻してください。 ※「ROLAND」フォルダーごと BR-80 に戻してください。	P.107
Not available!	現在のモードでは、操作を実行できません。		-
Power down!	内部電源電圧がレコーダーの動作保証の範囲を下回りました。	アダプターを使用している場合： ケーブルの断線やアダプターの不良が考えられます。ローランドお客様相談センターまたは販売店にご連絡ください。	-
		電池を使用している場合： 新しい電池と交換してください。	P.38
Protected!	ソング・プロテクトが「ON」になっている曲にデータの書き込みをしようとしています。	ソング・プロテクトを「OFF」にしてください。	P.86
Stop recorder!	レコーダーが動作中（再生または録音中）には操作できません。	【■】(STOP) ボタンを押して、再生または録音を止めてください。	-
System error!	BR-80 内蔵のメモリーに書き込みができませんでした。	BR-80 の故障が考えられます。ローランドお客様相談センターまたは販売店にご連絡ください。	-
Too many files!	LIVE REC モードで 1000 個以上のファイルを作ろうとしました。	不要なファイルを消去してください。	P.52
Too many songs!	MTR モードで 100 曲以上の曲を作ろうとしました。	不要な曲を消去してください。	P.87
Unformattedcard!	BR-80 で扱えない形式の SD カードです。	電源を切り、SD カードを確実に差し込んで、再度電源を投入してください。	P.39
		BR-80 でフォーマットしてください。	P.115
Unsupported format!	BR-80 が対応していない WAV ファイル、MP3 ファイル、SMF ファイルを取り込もうとしています。	WAV ファイル、MP3 ファイル、SMF ファイルの形式を確認してください。	P.128
Memory full!	MTR モードの曲のサイズが最大になりました。	オブティマイズをしてください。オブティマイズをしても空き領域が増えないときは、不要なトラックを消去して、MTR モードの曲のオブティマイズをしてください。	P.76、P.88

主な仕様

ボス MICRO BR BR-80 : DIGITAL RECORDER

トラック数	MTR モード	再生 : 8 同時録音 : 2 Vトラック : 64 (各トラックに 8 つ)
	eBand モード	再生 : 2 (ステレオ) 同時録音 : 2 (ステレオ)
	LIVE REC モード	再生 : 2 (ステレオ) もしくは同時録音 : 2 (ステレオ)
記憶容量	SDHC カード : SD カード :	4GB ~ 32GB 1 ~ 2GB
データ・タイプ	MTR モード	非圧縮、量子化ビット数 : 16 ビット
	eBand モード	eBand ソング (録音・再生) WAV : 量子化ビット数 : 16 ビット (再生のみ) MP3 : ビットレート : 64kbps ~ 320kbps (再生のみ)
	LIVE REC モード	WAV : 量子化ビット数 : 16 ビット (録音・再生) MP3 : ビットレート : 64kbps ~ 320kbps (録音・再生)
AD 変換	24 ビット	
	24 ビット	
DA 変換	24 ビット	
サンプリング周波数	44.1kHz	
記録時間	MTR モード (1 トラック換算)	
		2GB 約 6 時間 32GB 約 100 時間
	eBand モード	eBand ソング 2GB 約 8 時間 32GB 約 130 時間
	eBand モード LIVE REC モード	WAV : 2GB 約 3 時間 16 ビット、ステレオ 32GB 約 50 時間 MP3 : 2GB 約 34 時間 128kbps、ステレオ 32GB 約 550 時間

※ 上記の録音時間は目安です。作られるソングの数により、実際に録音できる時間は多少短くなります。

※ 上記の MTR モードの数字は使用トラックの合計です。8 トラックで均等にデータが入っている場合、できあがる曲の長さは上記の約 1/8 になります。また、1 つのソングの最大サイズは 2GB です。

※ eBand モード、LIVE REC モードの 1 つのファイルの最大サイズは 4GB です。

※ 録音中に最大サイズに達するか、録音時間が 24 時間に達した場合は録音を停止します。

規定入力レベル	GUITAR/MIC IN 端子 :	-20dBu (GUITAR/MIC スイッチ = GUITAR) -40dBu (GUITAR/MIC スイッチ = MIC)
	LINE IN 端子 :	-10dBu
入力インピーダンス	GUITAR/MIC IN 端子 :	1M Ω (GUITAR/MIC スイッチ = GUITAR) 6k Ω (GUITAR/MIC スイッチ = MIC)
	LINE IN 端子 :	10k Ω
規定出力レベル	PHONES/LINE OUT 端子 :	-14dBu

出力インピーダンス	PHONES/LINE OUT 端子 : 22Ω
ディスプレイ	グラフィック LCD 128×64 ドット (バックライト付き)
USB 機能	24 ビット / 44.1kHz USB-AUDIO (High Speed USB) USB マス・ストレージ・クラス (Hi-Speed USB) バス・パワー動作
接続端子	GITAR/MIC IN 端子 (標準タイプ) LINE IN 端子 (ステレオ・ミニ・タイプ) PHONES/LINE OUT 端子 (ステレオ・ミニ・タイプ) USB 端子 (ミニ B タイプ) DC IN 端子
電源	DC 9V : AC アダプター (別売) アルカリ電池、または充電式ニッケル水素電池 (単 3 形) × 2 USB バス・パワー
消費電流	130mA (AC アダプター使用時) アルカリ電池 約 6 時間 (8トラック連続再生、パワー・セーブ使用時) ※ 使用状態や電池、SD カードの品種によって異なります。
外形寸法	138.0mm (幅) × 86.0mm (奥行き) × 21.7mm (高さ)
質量	140g (電池、SD カードを含む)
付属品	SD カード USB ケーブル (ミニ B タイプ) アルカリ電池 (単 3 形) × 2 本 取扱説明書 保証書 ローランド ユーザー登録カード
別売品	AC アダプター (PSA-100) シリコン・ケース : BA-BR80S

※ 0dBu = 0.775Vrms

※ 製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

索引

[] ボタン	34
[] ボタン	35
[] ボタン	35
[] (STOP) ボタン	35
[] (PLAY) ボタン	35
[] (REC) ボタン	35

A

AB EDIT	100
[A -B] ボタン	34
AB リピート	
eBand モード	92
LIVE REC モード	47
MTR モード	60
ACOUSTIC SIM.	112
AC アダプター	41
A.GUITAR MULTI	113
AUTO POWER OFF	114
AUTO PUNCH IN/OUT	61

B

BATTERY	114
BEST 30 EDIT	100
BOUNCE	80
BR Series Wave Converter	107

C

CENTER CANCEL	31、96
[COSM] ボタン	34

D

DC IN 端子	36
----------	----

E

eBand Song List Editor	107
eBand モード	28、91
E.GUITAR MULTI	112
[ENTER] ボタン	35
[EXIT] ボタン	35

F

FACTORY RESET	116
FORMAT	115

G

GUITAR/MIC IN 端子	36
GUITAR/MIC 切り替えスイッチ	37
GUITAR TO BASS	113

I

INPUT SENS	114
------------	-----

K

KIT	72
-----	----

L

LCD BACKLIGHT	114
LCD CONTRAST	114
LINE IN 端子	36
LIVE REC モード	18、45

M

MASTERING	81
[MENU] ボタン	34
MIC L / R	35
MP3	105、106、107
MTR モード	22、55

P

PATCH SYNC	114
PHONES/LINE OUT 端子	36
PLAY MODE	
eBand モード	96
LIVE REC モード	48
POWER SAVE	114

R

[REC LEVEL] ダイアル	36
REC TRACK	59
REDO	78
REMAIN INFO	114
REVERB SEND	65
[RHYTHM] ボタン	34

S

SD INFO	115
SD カード	39
SD カードのトラブル	124
SMF IMPORT	72
SONG	94
SONG COPY	87
SONG ERASE	
eBand モード	99
LIVE REC モード	52
MTR モード	87
SONG INFO	
eBand モード	98
LIVE REC モード	50
MTR モード	85
SONG NAME	
eBand モード	98
LIVE REC モード	51
MTR モード	86

SONG NEW	57
SONG OPTIMIZE	88
SONG PROTECT	86
SONG SELECT	57
SPEED	31、95
STEREO MULTI	113
SYSTEM	114

T

TRACK EDIT	
COPY	74
ERASE	76
EXCHANGE	77
IMPORT	78
MOVE	76
TRACK EQ	64
TRACK LEVEL	63
TRACK MUTE&SOLO	64
TRACK PAN	64

U

UNDO	78
USB 端子	36
USB ドライバー	104
USB のトラブル	124

V

VOCAL MULTI	113
[VOLUME] ダイアル	36
V TRACK	66

W

WRITE/NAME	111
------------------	-----

あ

アルゴリズム	
E.GUITAR	112
MICROPHONE	113
アコースティック・ギター	113
マイク	113

え

エフェクト	110
eBand モード	97
MTR モード	68
詳細設定	110
エフェクト・カテゴリー	67
エフェクト・パッチ	67
エラー・メッセージ一覧	125

お

オーディオ・インターフェース	109
オート・パワー・オフ	117
音に関するトラブル	122

か

カーソル・ボタン	35
----------------	----

さ

再生する	
eBand モード	92
LIVE REC モード	47
MTR モード	60

す

ストラップ取り付け穴	36
------------------	----

そ

ソロ	64
ソング・テンプレート	23
ソング・パッチ	67

た

ダイアル	35
------------	----

ち

チューナー	118
-------------	-----

て

ディスプレイ	35
デモ・ソング	56
電源に関するトラブル	122
電池	38
テンポ	25

索引

と

トラック・ボタン	35
ドラム・キット	72
ドラムの音色	72

に

入力感度	49、114
------	--------

は

バウンス	80
バックアップ	108
バッテリー・ケース	37

ふ

プリセット・パッチ	67
フレーズ・トレーナー	31

ま

マスタリング	26、81
マスタリング・エフェクト	81

み

ミュート	64
------	----

め

メモリー・カード・スロット	37
---------------	----

ゆ

ユーザー・パッチ	67
----------	----

り

リカバー	108
リズム	69
リズムの進行	69
リバーブ	65

れ

レベル・メーター	63
----------	----

ろ

録音する	
eBand モード	93
LIVE REC モード	46
MTR モード	57
録音モード	49

MEMO

クイック・スタート

準備編

LIVE REC モード編

MTR モード編

eBand モード編

便利な機能

資料編

MEMO

お問い合わせの窓口

- 製品に関するお問い合わせ先

ローランドお客様相談センター **050-3101-2555**

電話受付時間： 月曜日～金曜日 10:00～17:00（弊社規定の休日を除く）

※IP電話からおかけになって繋がらない場合には、お手数ですが、電話番号の前に“0000”
（ゼロ4回）をつけてNTTの一般回線からおかけいただくか、携帯電話をご利用ください。

※上記窓口の名称、電話番号等は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

- 最新サポート情報

製品情報、イベント／キャンペーン情報、サポートに関する情報など

ローランド・ホームページ <http://www.roland.co.jp/>

ボス・ホームページ <http://jp.boss.info/>



ボス株式会社

〒431-2103 静岡県浜松市北区新都田 1-5-3

